

# 2023年度 現代教養学環 履修要項



この冊子は卒業まで使用します。  
大切に保管してください。

この冊子は履修・学修を進めるにあたっての基本事項を  
まとめたものです。次年度以降の配布はありませんので、  
大切に扱ってください。

※記載内容を変更する場合がありますので、  
「UNIVERSAL PASSPORT」等で確認してください。



学校法人 桐蔭学園  
桐蔭横浜大学

2023年度

---

# 履修要項

教育課程および履修方法

# 目次

## 2023年度 現代教養学環 履修要項

### 学修や学生生活を円滑にするために

学生と教員・職員のコミュニケーションを大切に ..... 3

## 1 履修について 4

1 単位とは	4
2 卒業までに修得すべき単位数について	4
3 セメスター制度について	4
4 卒業見込証明書発行基準	5
5 現代教養学環の授業科目と卒業要件	5
6 プロジェクト科目及びゼミについて	6
7 桐蔭キャラバンについて	8
8 履修申告について	8
9 履修申告単位数の制限について	9

## 2 授業について 10

1 授業について	10
2 授業の欠席について	10
3 公共交通機関の遅延等について	12
4 休講と補講	12
5 集中講義及びIAL (インテンシブ・アクティブラーニング) タームについて	13
6 緊急時の授業の取り扱い	14

## 3 試験・成績について 15

1 試験について	15
2 成績評価について	16
3 成績不良学生に対する警告	17
4 単位認定について	18
5 単位認定制度	18
6 留学制度について	19

## 4 卒業について 21

1 卒業延期制度	21
----------	----

## 5 現代教養学環教育課程表 24

### 資料編

校舎平面図	30
キャンパスマップ	48

# 学修や学生生活を円滑にするために

## 学生と教員・職員のコミュニケーションを大切に

履修の方法、申告の仕方、レポートの提出方法、就職準備の心構えなど、個々の学生だけでは処理しきれないことが大学生活には多々あります。

そこで、現代教養学環では、学生と教員間のコミュニケーションを重視し、それを通じて様々な問題が解決できるように心がけています。学生と教員・職員のコミュニケーションの手段としては、以下があります。

1. 掲 示 板	休講連絡、レポート課題、学生呼び出しなど重要な連絡が貼り出されます。
2. 教員研究室	I号館の5、6階または、IV号館の5、6階です。担任の教員、ゼミの教員の研究室の場所を確認しましょう。
3. 学生への 一斉送信メール	緊急連絡などは学内メールあてに送信されます。学内メールの受信設定、自分の携帯メールへの転送設定を忘れずに行ってください。
4. 桐蔭ユニバーサル・ パスポート (桐蔭ユニパ)	科目により、教員からのレポートや、授業時の資料などの指示がでます。また逆に、講義内容の質問を教員にすることができます。
5. そ の 他	活動により、学内メールや桐蔭ユニパ以外のコミュニケーションツールの使用を指示する場合があります。使用方法がわからない場合には必ず担任もしくはゼミの教員に確認してください。

### ■ 掲示板 IV号館1階



# 1

# 履修について

## 1 単位とは

本学は単位制をとり、卒業するためには、定められた期間内に、所定の単位を修得しなければなりません。単位とは、学修の成果を量的に示すものであり、1単位は次のように定められます。

講義、演習及び外国語	15時間の授業で1単位	15時間の予習、15時間の授業、15時間の復習から構成されるべきものと想定されている。
体育実技	30時間の授業で1単位	

なお、この場合の1時間の授業とは、正味45分の授業を意味しており、本学で行われている105分授業は2時間にあたります。従って以下ようになります。

講義、演習及び外国語	105分講義13回	2単位
体育実技、その他実習	105分授業13回	1単位

## 2 卒業までに修得すべき単位数について

学則上、4年間在学し、この期間に卒業要件単位数 **124単位以上** を修得することにより、卒業して、学士（学術）の学位を得ることができます。4年終了時に1単位でも不足すると、5年目以降にこれを履修しなければならなくなります。4年間で卒業要件単位を修得できない場合は、6年間まで在学することができます。（休学期間はこれに算入されません。また5年目以降は、卒業要件を満たした9月、あるいは3月に卒業することになります。）

## 3 セメスター制度について

科目の配置については、一般に通年制とセメスター制とがありますが、本学ではセメスター制を採用しています。セメスター制とは、各学年の前期・後期ごとに履修をすることができるようカリキュラムを配置するものです。4年間で卒業するには、8学期（8セメスター）を使って卒業に必要な単位を修得することになります。

### ■ 目標単位の目安

4年間で卒業するためには、3年次末から就職活動や資格試験準備が本格化することを考慮して、セメスターごとに20単位、各学年で40単位程度を修得することを目安として励んでください。セメスターで15単位を下回ると、卒業要件単位数124単位以上を修得することができないので要注意です。ただし、学年・学期によっては配当される科目が20単位を下回ることもありますので、履修計画については必ず担任もしくはゼミの教員に確認してください。

	1年		2年		3年		4年	
各学期20の場合	20	40	60	80	100	120	残4	
各学期15の場合	15	30	45	60	75	90	105	120×

## 4 卒業見込証明書発行基準

卒業見込証明書は以下の基準で、4年次に進級した後に発行されます。

- ① 4年次前期中の卒業見込証明書の発行基準は修得単位90単位以上とする。
- ② 4年次後期中の卒業見込証明書の発行基準は106単位以上とする。

学生便覧の11ページも参照してください。

## 5 現代教養学環の授業科目と卒業要件

現代教養学環の授業科目は、一般教育科目・学環専門科目で構成されています。開講される科目の一覧は、24ページの「5 現代教養学環教育課程表」に示されています。(但し、事情によって当該年度に開講されない科目もあります。)

### ■ 卒業要件の単位数の表

一般教育科目	39単位 (以上)
学環専門科目	59単位 (以上)
自由選択科目	26単位 (以上) 注1、2

注1：一般教育科目から6単位(以上)、学環専門科目及び他学部の開講科目から20単位(以上)を修得すること。

注2：サステナブル工学コースの学生は、一般教育科目から修得すべき6単位を学環専門科目及び他学部の開講科目から修得してもよい。

### 1) 一般教育科目

一般教育科目は、MAST A、B、C、キャリアプログラム、健康とスポーツ、オフキャンパスプログラム、特別講義に区分されます。卒業に必要な一般教育科目は、すべての現代教養学環の学生が**39単位以上**を修得しなければなりません。そのうち、以下の科目は必修(卒業までに必ず修得しなければいけない科目)となっています。

MAST A	桐蔭キャリアゲート、桐蔭スキルゲート、データコミュニケーション入門、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
MAST B	地域の科学、ビジネスの科学、異文化の科学、心の科学、地球環境の科学、プロジェクト入門注1、2
MAST C	分野横断型プロジェクト

注1：プロジェクト入門は5つのコンポとキャリアプログラムがテーマを設定し、それぞれに授業が開講されます(年度によって開講される授業は異なります)。1科目以上を履修しなければいけません。詳細は、授業時間割を確認してください。

注2：現代教養学環の学生は、注1に記す、5つのコンポとキャリアプログラムのプロジェクト入門以外に、「プロジェクト入門(現代社会)」を必ず履修しなければいけません。

## 2) 学環専門科目

学環専門科目は、学環基礎科目、コース基礎科目、コース発展科目、演習に区分されます。卒業に必要な学環専門科目は、すべての現代教養学環の学生が**59単位以上**を修得しなければなりません。そのうち、以下の科目は必修となっています。

学環基礎科目	ロジカルライティング、ロジカルコミュニケーション、デジタルスキル <sup>注1</sup> 、データコミュニケーション <sup>注1</sup> 、フィールドスタディ I
コース発展科目	地域社会学研究法 <sup>注2</sup> 、マーケティング学研究法 <sup>注2</sup> 、国際コミュニケーション学研究法 <sup>注2</sup> 、心理学研究法 <sup>注2</sup> 、サステイナブル工学研究法 I・II <sup>注2</sup>
演習	基礎ゼミナール I、基礎ゼミナール II <sup>注3</sup> 、専門探究ゼミナール I～IV、知識集約型研究プロジェクト I・II

注1：デジタルスキルかデータコミュニケーションのどちらか1つを履修すること。

注2：選択したコースの研究法を必ず履修すること。ただし、サステイナブル工学コースについては、I・IIの両方を履修すること。

注3：基礎ゼミナール II は、コースごとに開講されます。選択を希望するコースのゼミを含む2つ以上の基礎ゼミナール II を履修すること。

## 3) 自由選択科目

一般教育科目を39単位・学環専門科目を59単位修得しても、卒業要件単位124単位まで、残り26単位修得する必要があります。この26単位については、一般教育科目から6単位、学環専門科目・他学部の開講科目から20単位を自由に選択できます。つまり、一般教育科目（39単位以上）・学環専門科目（59単位以上）・他学部の開講科目の修得単位が合わせて124単位を超えていれば卒業要件を満たします。

ただし、他学部の開講科目については、他学部履修のルールに則って、適切な手続きを行った上で、履修をしてください。

# 6 プロジェクト科目及びゼミについて

現代教養学環は、1年次から4年次まで、プロジェクト科目およびゼミナール科目が配置されています。これらの科目では、授業時間外での調査や資料作成、授業時間中での発表や報告など、学生が主体的に参加することが求められます。

## 1) 1年次 プロジェクト入門

1年次のプロジェクト型学習の入門科目として、プロジェクト入門があります。プロジェクト型学習とは、身の回りの出来事や社会にある問題・課題の解決のために、他の授業で身につけた知識や技術を総動員して臨む学習形態の科目のことです。

プロジェクト入門は、5つのコンポ（地域創成、ビジネス・インテンシブ、異文化スタディ、現代心理、地球環境）とキャリアプログラムがテーマを設定し、それぞれに授業が開講されます。これらから1科目以上を履修しなければいけません。

それらに加え、現代教養学環だけで開講される、「プロジェクト入門（現代社会）」を必ず履修しなければいけません。

## 2) 2年次 分野横断型プロジェクト

2年次の必修科目として、分野横断型プロジェクトがあります。この科目は、2年次の2学期から3学期にまたがって開講されます。企業や団体、地域社会に関する諸課題に対し、各コースで学んだ知識やスキルを横断して活用しながら、課題を発見して最終的に解決策を提案することを目指す科目です。

## 3) 2年次 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ

基礎ゼミナールⅠでは、現代教養学環で展開される研究の一端に触れるために、各コース教員の研究室を順番に体験していきます。MAST科目やコース基礎科目で学んだ知識と学術的研究のつながりを経験的に学び、自分自身のキャリアをイメージして、コース選択ができように設計されています。

基礎ゼミナールⅡでは、コースが基盤とする学術領域で行われている研究について理解を深めることを目的としています。学生の興味や関心に沿ったいくつかの最先端の研究に触れることを通して、現代社会を支える様々な理論がどのように研究されてきているのか、各領域で扱われている課題や研究方法について理解していく第一歩になります。

## 4) 3年次 専門探究ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ

3年次には、自分の選択したコースの専門探究ゼミナールを履修します。現代社会の課題を探究する活動を通して、視野を広げるとともに、問題解決能力を養うことを目的としています。専門探究ゼミナールⅠでは、研究活動を行う基礎力を身につけるために、文献や資料から情報を収集・整理し、思考や意見を他者に伝わる論理的な文章としてまとめる練習を行います。自らが取り組む研究テーマを明確にすることが目標です。

専門探究ゼミナールⅡでは、Ⅰで設定した研究テーマに沿って、研究計画を立て、研究を遂行します。一連の研究プロセスを通して、研究目的に合わせた調査方法の選択と研究倫理について理解し、データを分析し、論理的に結果を記述する方法を身につけることが目標です。

専門探究ゼミナールⅢでは、Ⅰ・Ⅱで取り組んだ研究の結果を口頭で発表するとともに、文章としてまとめます。これらの作業を通して、調査結果を批判的に検討する力、プレゼンテーション力、論理的に文章を記述する力を身につけることが目標です。

## 5) 4年次 専門探究ゼミナールⅣ

専門探究ゼミナールⅣは、主に同じコースで学ぶ後輩の研究をサポートする活動を通して、自らの研究遂行能力についてふりかえるとともに、他者を支える経験を積むことを目的としています。専門探究ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲでの学びと、ピアサポートの経験によって、社会における研究の役割と意味を再確認し、学術研究が関わることができる問題や社会的課題について、視野を広め、見識を深めます。

## 6) 4年次 知識集約型研究プロジェクトⅠ・Ⅱ

本研究プロジェクト科目は、教育課程での学びの集大成となる科目です。学外フィールドワーク(桐蔭キャラバン)と現代社会考察科目で理解した現代社会の問題に、これまでに学修した現代社会を読み解く視点と専門的知識をもって挑み、課題を特定し、仮説を立てて調査を行い、解決を目指します。コースを超えて協働することで、学生一人ひとりの専門性を統合して、プロジェクトに取り組み、現代社会で求められる知を統合することを経験的に学びます。プロジェクトⅠでは、リサーチエスチョンを立て、1年間のプロジェクトの計画を策定することを到達目標とします。プロジェクトⅡでは、プロジェクトⅠで定めたプロジェクトの計画をもとに実行し、最終的に課題の解決を目指します。



## 7 桐蔭キャラバンについて

桐蔭キャラバンとは、1～2年次にかけて行われるフィールドスタディⅠ～Ⅳの総称です。フィールドスタディⅠは必修科目、フィールドスタディⅡ～Ⅳは選択科目ですが、履修することを強く推奨します。

地方都市では過疎化が喫緊の課題であり、特に、人口流出、経済・社会の持続性の低下を軸として、移住・交流の停滞、魅力ある雇用先の減少、観光客・住民の移動困難、発災時における住民所在困難などの多くの課題を抱えています。また、大都市では、過密・混雑（待機児童問題、大規模イベント発災時の混雑・事故）、地方都市のスポンジ化、地域コミュニティの弱体化、機能不全などの多くの課題を抱えています。地方都市と共通の課題である、人手不足（医療・介護従事者・教員）、公共施設の過不足・整備・更新コストなども理解していく必要があります。この状況をフィールドスタディとして実際に現地体験し、考察を深めていきます。

各コースで学んできた知識やスキルを活用して、課題解決につながる活動を行い、発表することを目的とします。地域社会学・マーケティング学・国際コミュニケーション学・心理学・サステナブル工学の1つないしは複数の知識を活かして、現地での活動前に課題の仮説を立て、フィールドでの活動を通じて、活動後に課題解決につながる内容の発表を行う、プロジェクト型学習です。

## 8 履修申告について

授業を受けるためには、桐蔭ユニバを通じて受講しようとする授業科目について履修申告をしなければなりません。履修申告は各学期の始めに設けられる手続期間内に行う必要があります。この申告手続をしなければ、履修は認められません。履修申告がないと、たとえ授業に出席し、試験を受けても単位は認定されないの注意してください。また、誤って履修申告した科目もこれと同様に扱われるので、履修申告とその確認については、オリエンテーションで説明を受け、授業時間割等を参照して間違いのないように手続をしてください。

3年次までで卒業に必要な単位をすべて修得し、4年次に履修する科目がない場合でも、履修申告が必要です。この場合は、履修する科目を選ばず、「提出ボタン」だけをクリックしてください。

必修科目は、配当学年で必ず履修・修得するようにしてください。必修科目の単位を、申告ミス、成績不良、試験の欠席その他の理由で、配当学年中に修得できなかった場合、翌年の時間割では、上級学年に配当される必修科目と時間が重複するために履修できないことがあります。

なお、履修人数を制限する科目があるため、オリエンテーション期間中に仮登録期間を設定します。人数制限の方法については、抽選などとなります（科目ごとに異なりますので、桐蔭ユニバを確認してください）。

### 【履修申告の流れ】

授業開始日



① オリエンテーション期間 …… 履修申告期間

② 授業開始日から一週間目 …… 申告修正期間

申告修正期間を過ぎると、履修申告、訂正はできなくなります（ただし、事情により当該授業が開講となった場合は例外とします）。

## 9 履修申告単位数の制限について

### 1) 上限

学期の履修申告単位数は、24単位を上限とします（ただしIALタームは上限を8単位とします）。これはそれぞれの科目について、単位の真意に鑑み、適切な学習を行う必要があるためです。上限には、体育実技、集中講義期間中に実施される科目、単位認定を受けた科目を含みません。但し特別な事情がある場合には、学務委員会の承認のもと、相当事由のある科目について履修することができます。

### 2) 下限

学期の履修申告単位数は、10単位を下限とします。但し、3年次・4年次学生については、下限を設けません。

### 3) 履修申告の修正について

授業開始後、第一週を、履修申告の修正期間とします。この期間内に、履修登録した科目を追加、あるいは取り消すことができます。修正をする場合は、履修登録した時間割をプリントアウトし、赤で追加の科目の書き入れ、あるいは取り消しの科目に抹消線を入れて、現代教養学環学務委員の承認を得たうえで学務部に提出してください。

なお、修正した場合でも、上記の上限・下限の制限が及びます。

### 4) 履修申告期限に遅れた者に対する履修申告単位数の制限について

各学期ごとに定められた履修申告期限に遅れた者は、当該学期の履修申告上限を **12単位** とします。但し、集中講義期間中に実施される科目はこれに含まれません。なお、学務委員会において適当であると認められた場合は上記の上限を設定しません。授業開始後5週間を経過した後は、学務委員会の承認がなければ履修登録をすることができなくなります。

## 2 授業について

### 1 授業について

#### 1) 学年および学期

学年は毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終了します。また、3学期制を採用しており、第1学期（4月上旬～7月下旬）と第2学期（9月上旬～12月下旬）は13週間授業、第3学期はインテンシブ・アクティブラーニング・ターム（IALターム）と呼び、1月～2月に特定の科目を集中して学ぶ期間となります。

前期	第1学期：4月～7月（夏期集中8月）
後期	第2学期：9月～12月
	第3学期（IALターム）：1月～2月

#### 2) 授業時間割

授業は、学期ごとに週単位で決められた授業時間割によって行われます。授業時間割には、曜日と時限によって、授業科目名、担当教員名および授業の場所が一覧表になって記載してあります。

授業時間割の授業時間の基準は、次のとおりです。

時 限	1	2	3	4	5
月～土 の時間	8 : 50 } 10 : 35	10 : 45 } 12 : 30	13 : 00 } 14 : 45	14 : 55 } 16 : 40	16 : 50 } 18 : 35

### 2 授業の欠席について

授業はすべて出席することが原則です。

#### 1) 欠席する場合（感染症は2）、忌引きは3）を参照）

病気や怪我、その他の理由によりやむなく授業を欠席し、以下の事由に該当した場合は、「欠席届」等を授業担当教員に提示し報告することができます。

「欠席届」、「忌引届」、「感染症罹患届」、「診断・登校許可証明書」の書式は、桐蔭ユニパからダウンロードしてください。ただし、この「欠席届」は**欠席理由を明示するものであって、欠席が出席になるわけではありません**。扱いについては授業担当教員の判断に委ねられています。

#### 「欠席届」を提出することができる事由

- 学会発表（発表者のみ）
- 学生会公認団体の試合等
- 大学行事等
- 国または都道府県の諸行事や大学代表として派遣される場合
- 通学中、授業中、公認団体での活動中の傷害
- 病気にかかった場合（「2）感染症にかかった場合」も参照）

**いずれの場合も大会要項、医師の診断書等、欠席理由・欠席期間を証明する書類を添付すること**

**(手続方法)**

- ① 桐蔭ユニパから「欠席届」をダウンロードして印刷し、必要事項を記入する。
- ② 記入した「欠席届」を顧問等の教員に提出し、署名および捺印をいただく。
- ③ 欠席した授業の担当教員に「欠席届」を提示して説明する。

※授業担当教員から欠席届の提出を求められたときは適宜コピーをとること。

**2) 感染症にかかった場合**

- ① 学校保健安全法に定められた感染症にかかっていると疑われる場合は通学を見合わせ、速やかに医師の診療を受けてください。診断の結果、感染症にかかっていると診断された場合は直ちに学務部（045-971-1415）に電話で連絡をしてください。医師が通学を許可するまでの期間、出席停止となります。
- ② 医師が治癒したものと診断し通学を許可した場合、医師の署名捺印を受けた「診断・登校許可証明書」を添えて「感染症罹患届」を学務部に提出してください。

**■ 病名と出席停止の期間**

	病 名	期 間
第 1 種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群※ <sup>1</sup> 、中東呼吸器症候群※ <sup>2</sup> 、特定鳥インフルエンザ※ <sup>3</sup> 、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症	治癒するまで
第 2 種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで
	百日咳	特有の咳がなくなるまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	熱が下がって 3 日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発疹が消えるまで
	水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消失した後 2 日を経過するまで
第 3 種	結核、髄膜炎菌髄膜炎	病状により、学校医・その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
第 3 種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症など）※ <sup>4</sup>	

※<sup>1</sup> 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る

※<sup>2</sup> 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る

※<sup>3</sup> 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する特定鳥インフルエンザをいう

※<sup>4</sup> 第 3 種その他の感染症については学校医・大学の判断で出席停止となる場合があります

### 3) 忌引きの場合

忌引により欠席する場合、次の続柄の親族が亡くなった場合は「忌引届」を提出することができませんので学務部に申し出てください。提出の際、欠席日を確認できる「会葬御礼」または死亡を確認できる「公的証明書」の写しが必要です。なお、忌引日数は次のとおりです。

父 母	7日以内	※日数には、土日・祝日を含む連続する期間とします。
祖父母・兄弟姉妹	3日以内	
伯(叔)父母	1日	

## 3 公共交通機関の遅延等について

通学中、電車やバスが何らかの理由により運行できない、もしくは遅延して授業に遅刻・欠席せざるをえない場合は、遅延証明書を駅やバス営業所等からもらい、授業担当教員に自分で報告してください。**ただし、遅延証明書を提出しても遅刻が取り消しになったり、欠席が出席になるわけではありません。すべて授業担当教員の判断に委ねられています。**

遅延等に備えてあらかじめ迂回ルートを考えておくとよいでしょう。

## 4 休講と補講

### 1) 休講

大学または各授業科目の担当教員にやむを得ない事情が発生した場合、授業を休講とすることがあります。休講情報は、掲示およびメール、桐蔭ユニパによって通知します。休講の掲示がなく、授業開始後30分以上経過しても担当教員が入室しない場合は、自然休講とします。また、休講についての電話照会には応じません。

台風接近等により、神奈川県全域または神奈川県東部（「横浜・川崎」「湘南」「三浦半島」）に『特別警報』『大雪警報』『暴風警報』または『暴風雪警報』が発令された場合は、原則として休講とします。ただし、当日に警報が解除された場合は次の通りとします。

- ① 当日午前6時までに警報が解除された場合は、平常どおり授業を行う。
- ② 当日午前10時までに警報が解除された場合は、午前中の授業を休講とし、午後から授業を行う。
- ③ 当日午前10時までに警報が解除されない場合は、授業を終日休講とする。

また、授業中に警報が発令があった場合は、学内放送・掲示等で告知しますので、指示に従ってください。

### 交通機関の運休について

東急田園都市線（渋谷ー中央林間）及び小田急小田原線（新宿ー小田原）が**両線とも**、災害、停電、事故等により運休した場合。

- ① 午前6時に両線とも運休している場合は、午前の授業等を休講とする。
- ② 午前11時に両線とも運休している場合は、午後の授業等を休講とする。

※東急田園都市線及び小田急線以外の交通機関が不通になった場合は、全学休講措置はとりませんが、授業担当者が出校不能で休講となることがあります。

また、代替交通機関が利用できず登校できない場合は、各交通機関で発行している遅延証明書を受け取り、授業に間に合う場合は遅延証明書を授業担当者に渡してください。授業に間に合わない

場合は、遅延証明書及び学生証を持参の上、後日学務部窓口に来てください。

その他、不測の事態が発生した場合は学長の判断によります。

なお、定期試験についても上記に準じます。

## 2) 補講

休講となった講義については、補講または代替レポートがあります。補講の日程・教室（通常その講義で使用している教室でないこともあります）を掲示で確認するようにしてください。

なお、現代教養学環では下記の「補講予定日」を設定しています。「補講予定日」には、補講が行われる可能性があります。土曜日に私生活上の予定を立てる場合には、「補講予定日」を十分に考慮するようにしてください。

令和5年度の「補講予定日」は、以下のとおりです。

前 期	後 期
5月2日（火）	10月10日（火）
5月6日（土）	12月13日（水）
7月21日（金）	

## 5 集中講義及びIAL（インテンシブ・アクティブラーニング）タームについて

現代教養学環では、自由に授業時間割を設定できる集中講義期間を活用して、プロジェクト型授業でのイベントの企画・運営や、学外でのフィールドワークを開講しています。また、通常学期中には設定できない連続したコマでのアクティブラーニング型授業、他大学や地方自治体、その他様々な組織・団体に所属する専門家を招いて行われる授業等も、この期間に開講されます。また、1月の授業開始日から2月末日までの期間をIALタームとして設定します。集中講義の科目・日程は、学務部の掲示で発表されます。通例、7月、8月及びIALターム内に集中講義日程が組まれます。3～4日間で、1日4～5コマの連続講義もあれば、週に2コマで6～7週にわたって行われる講義もあります。集中講義の試験は各クールの最後の時間に実施されます。集中講義の履修登録は、学期後半の指定された期間に行われ、これに遅れると履修できなくなるので注意してください。

### ■ 学務部からの学生への連絡方法

学生の皆さんは、掲示に注意するようにしてください。

休講、補講、集中講義、あるいは試験日程などの授業に関連した一般的な連絡、または、特定の学生に対する呼出し・連絡などは、すべて掲示板を通じて行われます。大学に来たときは習慣としてまず掲示板を見るようにしてください。掲示内容に疑問があれば、ただちに学務部の窓口もしくは担当教員に連絡をしてください。

### \* 桐蔭ユニパでも休講情報が閲覧できます。

呼出しや、授業連絡、レポート提出などについては掲示板でしか知ることのできない内容も多いので、必ず毎日掲示板を見るようにしてください。

## 6 緊急時の授業の取り扱い

---

### 1) 台風等

台風接近等により、神奈川県全域または神奈川県東部（「横浜・川崎」「湘南」「三浦半島」）に『大雪警報』『特別警報』『暴風警報』または『暴風雪警報』が発令された場合は、次のとおりとします。

- ① 当日午前6時までに警報が解除された場合 …… 平常どおり授業を行う。
- ② 当日午前10時までに警報が解除された場合 …… 午前中の授業を休講とし、午後から授業を行う。
- ③ 当日午前10時までに警報が解除されない場合 …… 授業を終日休講とする。

また、授業中に警報が発令があった場合は、指示に従ってください。その他、不測の事態が発生した場合は学長の判断によります。

なお、定期試験についても上記に準じます。

### 2) 地震

東海地方を中心とする大規模な地震の発生が予想されるときは、「地震防災対策強化地域判定会」（以下「判定会」）が招集され、状況によって内閣総理大臣より「警戒宣言」が発令されます。大学では「判定会」が招集されたことがテレビ・ラジオ等で確認された時点で休校とします。

- ① 在宅中および通学途中においては、各自の判断で行動してください。
- ② 在校中においては、大学からの指示に従ってください。
- ③ 「判定会」が解散されたとき、または「警戒宣言」が解除されたときの授業再開は、
  1. 午前6時より前の場合は、当日の平常授業を行います。
  2. 午前6時を過ぎている場合は休校とし、翌日より平常授業を行います。

※ 常日頃からの防災……『学生便覧』46ページ参照（13 防災について）



## 1 試験について

試験は、定期試験、追試験、再試験、及び科目によっては臨時試験があり、筆答試験または実技試験により行います。なお、授業科目によっては、レポート、論文、授業内試験、口頭試問等により行うこともあります。

定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回、前期及び後期についてそれぞれ一定の期間を定めて行います。</li> <li>・試験を実施する授業科目、日程等は、実施1週間前までに告示します。</li> </ul>
追試験	<p>病気その他やむを得ない理由により、定期試験を受けることができなかった者で、授業科目担当教員が適当であると認め、次の事項に該当する場合には行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気（診断書または本学指定の診断（登校許可）書添付）。 伝染病の場合は伝染病罹患届も提出のこと。</li> <li>・不慮の事故及び災害（事故証明添付）。</li> <li>・2親等までの親族の死亡（保証人の届出書または忌引届添付）。</li> <li>・就職試験および公的な資格取得試験（試験日等を証明する書類添付）。</li> <li>・交通機関の遅延等</li> <li>・その他やむを得ない理由と認められるとき。</li> </ul> <p><b>（手順）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 該当の添付書類を持参し、学務部で1科目につき1枚追試験願を受け取る。</li> <li>② 必要事項を記入し、学務部に提出する。</li> <li>③ 追試験の実施の有無、実施日時等が学務部から連絡がある。 （連絡は、大学が発行しているアドレスに入ります。受信メールがすぐ確認できるように事前に準備しましょう）</li> <li>④ 追試験実施日までに、学務部に追試験許可通知書を受け取りに行く。</li> </ol>
再試験	<p>定期試験または追試験で不合格になった者に対し、授業科目担当教員が特に必要と認めた場合に限り行います。なお、1科目につき2,000円の再試験受験料が必要です。</p> <p><b>（手順）</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 証明書自動発行機で再試験受験料2,000円を納める。</li> <li>② 納入後印刷された再試験願を再試験受験時に授業科目担当教員に提示する。</li> </ol>
臨時試験	<p>学期の中途において授業科目担当教員が随時に行う試験です。</p>

### ■ 受験資格

- ・履修する授業科目について履修申告を行い、出席が良好な者で授業科目担当教員が認めた者に限ります。**各科目ごとに受験資格が設けられている場合もありますので、必ずシラバスを確認してください。**
- ・当該学期の学費その他納付金の未納者は、いずれの試験も受けることができません。

### ■ 試験時の心得

- ・試験を受ける際は、**学生証を机上に提示してください。**学生証が無いと受験できません。万一忘れた場合には、仮学生証の交付を受けてください（下記の「仮学生証交付の手続方法」参照）。ただし、学生証再交付手続中の場合はこの限りではありませんので学務部で確認してください。
- ・試験室への入室（遅刻の限度）は、試験開始後30分までとし、退出は、試験開始後35分を経過しなければ、認められません。



## ■ 仮学生証交付の手続方法

仮学生証は、有料（200円/日）で、当日限り有効です。

- ① 証明書自動発行機で仮学生証発行申請を行い、200円を納めてください。
- ② 出力された用紙に必要事項を記入し、学務部へ提出。
- ③ 本人確認を行った後、発行印を押印して交付。

**不正行為があった場合は、その学期のすべての授業科目の試験が無効になります。**  
その上、学則に基づく処分を受けることになります。

## 2 成績評価について

### 1) S、A、B、C、Dによる評価

- (1) 申告された授業科目の履修成績は、学期末に実施される試験（平素の成績、レポート提出等による場合もある）によって合格か不合格かが認定されます。成績の採点は100点満点で行われ、60点以上を合格とし、その授業科目の単位が与えられます。成績評価の表示はS、A、B、C、及びDによって行われ、その点数区分は以下のとおりです。

S	90点以上100点
A	80点以上90点未満
B	70点以上80点未満
C	60点以上70点未満
D	60点未満（不合格）

- (2) 再試験における成績は、80点未満となります。
- (3) 成績は上記評価により、学期ごとに桐蔭ユニバを通じて閲覧することができます。

### 2) 成績照会制度

各学期の学期末に交付された成績表に記載された成績評価に疑義がある場合は、成績公開日から2週間以内に限り、成績評価を担当した教員に照会を求めることができます。**照会を求める場合には、学務部窓口申し出て、所定の手続きを行ってください**（桐蔭ユニバで案内されます）。

たとえば、出席やレポート、試験などにすべて対応したにもかかわらず、自身が考える評価とは異なる成績評価であった場合に、その成績評価について確認をしたいときには、「成績照会の申請書」を学務部に提出し確認を求めることができます。

成績照会制度は、成績評価について学生の言い分を聞き、評価の理由について説明を求める制度で、成績を変更してもらう制度ではありません。制度の趣旨を十分に理解したうえで利用してください。

成績照会請求の期限を過ぎてしまった場合、成績評価は、誤記などの特別の事情のない限り変更されることはありません。

### 3) GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 値による評価

- (1) 本学では、成績評価の基準の一つとして、GPA値を導入しています。就職に際して、企業によっては、S、A、B、C、D評価よりもGPA値が重視される場合もあります。成績通知書には両評価を記載します。複数の成績評価を行うのは、複眼的に自分の成績を管理してもらおうというねらいです。
- (2) GPA値の算出方法は、科目ごとのS、A、B、C、Dの評価を科目GP値に置き換え、その上で各科目GP値に各科目の単位数を乗じたスコアの総和を総登録単位数で除すというものです。GPA値の計算式は次のようになります。

1. 授業科目別評価S、A、B、C、Dを点数（グレード・ポイント：GP）化します。

$$S - 4, A - 3, B - 2, C - 1, D - 0$$

2. GPに授業科目の単位数を乗じ、すべての授業科目の総和を総単位数で割ります（これを、グレード・ポイント・アベレージ：GPAといいます）。

$$GPA = \frac{\text{(GP} \times \text{単位数) の総和}}{\text{(単位数) の総和}}$$

この基準で計算した場合、GPA値は、履修科目すべてがSであれば4.0になり、履修科目がすべてDであれば0.0となります。

- (3) 成績通知表には、学期ごとに、及び累積で、GPA値の数値として修得単位成績表の中で示されます。努力して良い成績をあげれば、GPAの数値は上昇します。努力を怠れば、GPAの数値は下降します。修得単位数は怠けても減るわけではありませんが、GPA値は怠けると下降します。GPAの数値の変動を確認して、成績を自己管理するように努めてください。注意してほしいのは、履修科目を途中で放棄したり、試験を受けなかったりする場合、D評価が与えられるため、このような科目が多くなるとGPAが低い数値になってしまうことです。したがって、履修申告にあたって、科目の選択を十分に検討し、必要な場合は定められた期間に申告訂正をする必要があります。尚、一度Dとなった科目については、次学期以降再履修で単位を取得した場合でも、一度ついたD=0点は積算GPAではカウントされ続けます。

### 3 成績不良学生に対する警告

成績不良者に対する警告及び注意は、次の修得単位数未達の学生を対象とします。

事 項		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
警 告 基 準	前期末	10	35	70	106
	後期末	20	50	90	—
注 意 基 準	前期末	15	45	80	—
	後期末	30	60	100	—

- (1) 警告該当者には、保証人あてに警告書を通知するとともに、担任による指導が行われます。
- (2) 注意該当者には、担任による指導が行われず。

### ■ 三者面談

単位の修得状況が芳しくない1年次生、2年次生を対象として、9月と3月に三者面談が実施されます。そこでは、教員、保護者、本人で、なぜ十分に単位を修得できていないのかの原因を分析し、これからの対策、方針について話し合いが行われます。

## 4 単位認定について

単位認定制度では、文部科学省の定める範囲内で、入学前入学後にかかわらず本学以外の大学等の修得単位60単位（一般教育科目、専門教育科目の順に）までを本学の卒業要件単位として認定します。もっとも、個々の学生の認定単位数は本学に入学する前の学校で修得した科目いかんで異なります。

単位認定については下記の「5 単位認定制度」を参照してください。なお、この一覧は学務委員会、教授会の決定に基づいて追加、修正、変更されることがあります。

## 5 単位認定制度

単位認定は、原則として24単位を上限とします。

項目	内容																														
<b>放送大学</b> 【手続き・学務部】	放送大学で履修した単位は、一般教育科目として認定されます。但し、放送大学で履修できる授業科目は一定の科目に限ります。詳細は後日掲示します。																														
<b>横浜市内大学間 単位互換制度</b> 【手続き・学務部】	横浜市内大学間単位互換協定参加大学で修得した単位は、一般教育科目として卒業要件単位に認定します。但し、履修希望者は、事前に学務部に申し出た上で、履修指導を受けなければなりません。この制度では、加盟大学の開講科目を履修することができます。尚、1年次生、4年次生（卒業必要単位を修得した者を除く）は履修することができません。成績評価と単位認定は、本学の評価基準に従って行われます。																														
<b>トラジションセンターの 開講する社会人講座</b>	トラジションセンターが開講する生涯学習講座のうち、学務委員会が特別に認めた科目については、単位認定の対象とすることがあります。																														
<b>英語検定・資格</b> 【手続き・学務部】 ※資格取得を証明する書類を添えて、申請期間（各学期の履修申告期間中および各学期の定期試験期間中）に申請してください。	<p>英検、TOEIC<sup>®</sup>、TOEFL<sup>®</sup>、IELTS<sup>™</sup>において、所定の級、点数を取得した者は、以下の基準でMAST科目として開講される英語コミュニケーションを除く、英語関連の講義・演習科目の単位として認定します。当該年度の対象科目については、学務部に確認をしてください。</p> <p>すでに到達しているレベルに加算される形で、上限を8として単位が認定されます。科目でレベル2までの4単位を修得した後に、英検2級（レベル2）を取得した場合には、追加で単位は認定されませんが、英検準1級（レベル3）を取得した場合には、2単位分が認定されます。</p> <p>ただし、入学後に受験した試験に限ります。</p> <table border="1"><thead><tr><th>レベル</th><th>認定単位数</th><th>英検</th><th>TOEIC<sup>®</sup></th><th>TOEFL<sup>®</sup> (iBT)</th><th>IELTS<sup>™</sup></th></tr></thead><tbody><tr><td>4</td><td>2</td><td>1級</td><td>860~990</td><td>80~120</td><td>6.5~9</td></tr><tr><td>3</td><td>2</td><td>準1級</td><td>630~855</td><td>67~79</td><td>5.5~6</td></tr><tr><td>2</td><td>2</td><td>2級</td><td>500~625</td><td>56~66</td><td>5</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>準2級</td><td>400~495</td><td>40~52</td><td>4~4.5</td></tr></tbody></table>	レベル	認定単位数	英検	TOEIC <sup>®</sup>	TOEFL <sup>®</sup> (iBT)	IELTS <sup>™</sup>	4	2	1級	860~990	80~120	6.5~9	3	2	準1級	630~855	67~79	5.5~6	2	2	2級	500~625	56~66	5	1	2	準2級	400~495	40~52	4~4.5
レベル	認定単位数	英検	TOEIC <sup>®</sup>	TOEFL <sup>®</sup> (iBT)	IELTS <sup>™</sup>																										
4	2	1級	860~990	80~120	6.5~9																										
3	2	準1級	630~855	67~79	5.5~6																										
2	2	2級	500~625	56~66	5																										
1	2	準2級	400~495	40~52	4~4.5																										

項目	内容
<p><b>その他</b>  <b>【手続き・学務担当教員】</b>            ※合格証、認定証などを添えて申請書を学務委員会の担当教員に提出する。</p>	<p>① 交換留学            協定に基づく交換留学生として留学した場合、その期間と留学先での修得単位に応じて、相当な範囲で単位を認定します。</p> <p>② このほか、学務委員会が特別に認めた場合に単位認定の対象とすることがあります。</p>

## 6 留学制度について

### 1) 短期留学（短期語学研修）について

全学部の学生を対象とした、海外4か国の協定大学等での短期語学研修及び文化体験プログラムです。慶南大学（韓国）、ウースター大学（英国ロンドン郊外）、ウエスト大学（米国ロサンゼルス）、ボンド大学（豪州ゴールドコースト）から選択できます。（ただし、慶南大学については、スポーツ健康政策学部・スポーツ科学部の学生の申込みが優先されます。）

学費、渡航費等は自費です。滞在は大学周辺の一般家庭にホームステイまたは寮に滞在し、期間は約2～4週間です。留学のプログラムは、語学の授業を受講し、その他の時間で留学先の講義に出席したり、大学側が用意したプログラムへの参加等となります。また、平日の午後及び週末にプログラムごとの各種アクティビティが企画されています。

夏期のプログラム（韓国）に参加する学生は5月頃に、春期のプログラム（英語圏）に参加する学生は10月頃に参加申込み（履修申告）をします。通常の履修申告期間にはウェブ登録を行いません。法学部、医用工学部、現代教養学環の学生はMAST科目の「国際コミュニケーション実習」、スポーツ健康政策学部・スポーツ科学部の学生は専門科目の「国際コミュニケーション実習（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」の単位（4単位）となります。

英語圏の留学については渡航までに10回程度、英語村での事前指導があります。また、渡航後に、研修先が発行する成績証明書あるいは修了証明書を提出し、体験プログラムへの参加状況と活動成果の報告・発表を行うことで、単位が認められます。

### 2) 本学協定大学等との交換留学（1年間または半年）

休学せずに、本学協定大学等に留学（交換留学）するものです。語学力はもちろん、コミュニケーション力が一回りも二回りも成長します。帰国後、留学先大学で修得した科目内容により単位を認定します。

#### 【英語圏の大学】

ウースター大学（英国ロンドン郊外）に交換留学を申請することができます。これに申請するにはIELTSの高得点が求められます。また留学先大学の学費は免除されますが、その他の経費は自己負担になります（学部からの推薦が必要です）。

#### 【中国語圏の大学】

法学部では西南政法大学や南京師範大学等中国語圏の大学との交換留学を行っています。これらの大学との協定では、本学へ納入した学費で相手校に留学できます。ただし旅費や滞在費は個人負担となります（学部からの推薦が必要です）。なお中国語を習得するための講義のみの履修でも可能であるため、医用工学部、スポーツ健康政策学部・スポーツ科学部、現代教養学環の学生も留学の機会があります。

#### 【韓国語圏の大学】

スポーツ健康政策学部・スポーツ科学部では慶南大学（韓国）との実績があります。法学部、医用工学部、現代教養学環の学生も応募可能です。大学間の協定によるものなので、本学へ納入した学費で相手校に留学できますが、旅費や滞在費は個人負担となります（学部からの推薦が必要です）。

### 3) 個人による留学について

夏休みや春休みを利用した個人参加による留学、または長期の留学を希望される場合、外部の留学プログラム等を紹介することが可能です。

単位認定を希望する場合には、渡航前に所定の様式をもって学務部にお問い合わせください。その後、各学部の国際交流担当の教員と面談を行います。帰国後に申請した通りの活動に従事したことを証明する書類を提出し、活動成果を報告・発表をすることで、単位（MAST科目「海外実習」、2単位）が認められる場合があります。

### 4) 学内の取組みについて

交流会館3階に「桐蔭英語村」があります。

ここには常に外国のネイティブスタッフが常駐し、毎日気軽にお喋りやゲームを楽しんだり、好きな時に好きなだけ英会話のレッスン、TOEIC®・文法・読解などの勉強をすることができます。ここは、楽しく、そして自然に英語を使う場として、さまざまな活動を提供しています。

# 4 卒業について

## 1 卒業延期制度

4年次生で、卒業に必要な要件を満たすものの、就職活動など正当な理由により、卒業を延期し、引き続き在学を希望する場合は、卒業延期制度を利用することができます。本制度を利用して卒業延期を希望する学生は学務部まで申し出てください。

### 1) 申請条件

- (1) 卒業に必要な要件を満たす4年次生であること。
- (2) 授業料等納付金を完納していること。
- (3) 引き続き在学することにより在学期間が6年を超えないこと。

※以上の条件を満たしている場合、卒業延期願を提出することができ、その申請に基づき運営委員会が審査し、これを許可します。したがって、上記申請条件を満たしていても、卒業延期が認められない場合があります。

### 2) 期間

- (1) 卒業に必要な要件を満たした学年の翌年度の1年間。ただし、1回に限り再延長可（最長2年間）。

### 3) 卒業時期

- (1) 卒業の時期は延長後の在学期間が終了する年度の最終日とします。ただし、卒業延期による在学期間中に事情の変更により前期で卒業を希望する場合は、願い出により9月卒業をすることができます。再延長した場合も同様です。

### 4) 身分

- (1) 4年次在學生として扱われます。
- (2) 卒業延期を許可された学生は、在學生として扱われます。よって、情報施設や図書館などの諸施設・設備利用、学生証の発行、及び学則に基づく懲戒処分についてもその対象になります。

### 5) 授業科目の履修

- (1) 授業科目の履修を希望する場合は、年間10単位までの履修が認められます。
- (2) 履修した授業科目は、成績証明書に記載されます。

### 6) 納付金

- (1) 在籍料10万円を納付期限までに一括で納付してください。

※年額一括納付ですので、事情の変更により前期卒業した場合も納付金は返還されません。

※別途学生グループ保険料が必要です。

## 7) 手続き

- (1) 卒業延期を希望する学生は、下記の提出期間に「卒業延期願」を学務部窓口へ提出してください。
- (2) 運営委員会審査の結果、卒業延期を許可された学生には、在籍料等納付書を送付しますので、期限までに全額を納付してください。  
※期限までに納付されなかった場合は、卒業延期の許可を取り消し、卒業に必要な要件を満たした年度（既に卒業延期制度の適用を受けている者にとっては、延長後の在学期間が終了する年度をいう。以下同じ。）の3月末日付の卒業とします。
- (3) 卒業延期を許可された学生が、事情の変更により卒業に必要な要件を満たした年度末で卒業を希望する場合は、下記の提出期限までに「卒業延期許可取消願」を学務部窓口へ提出してください。卒業延期の許可を取り消し、卒業に必要な要件を満たした年度末での卒業を認めます。この場合、既納の在籍料は返還します。
- (4) 9月卒業生についても申請条件を満たしていれば、この制度の利用を申請することができます。
- (5) 卒業に必要な要件を満たさなかった場合は留年となり、この制度の適用を受けることはできません。

〈卒業延期制度の日程〉 ※日程の詳細については後日、発表します。

「卒業延期願」提出期間	2月上旬
運営委員会審査	2月下旬
審査結果の通知	3月上旬
「卒業延期許可取消願」提出期限	3月下旬
在籍料納付期限	4月上旬





## 5

## 現代教養学環教育課程表

各年度によって、科目の前後期配当が変わる場合があります。その際は、学年が開始される前に別途お知らせします。

現代教養学環教育課程表①

●…必修 ○…選択

科目区分	授業科目の名称	単位	授業形態	1年	2年 (予定)	3年 (予定)	4年 (予定)	備考	
一般教育科目	MASTA	桐蔭キャリアゲート	2	講義	●				
		桐蔭スキルゲート	2	講義	●				
		データコミュニケーション入門	2	講義	●				
		英語コミュニケーションⅠ	2	講義	●				
		英語コミュニケーションⅡ	2	講義	●				
		英語コミュニケーションⅢ	2	講義		○			
		英語コミュニケーションⅣ	2	講義		○			
	地域創成コンボ								
		地域の科学	2	講義	●				
		サステナブル社会学	2	講義	○				
		地域における健康課題	2	講義	○				
		コミュニティ・ファシリテーション	2	講義	○				
	ビジネス・インテンシブコンボ								
		ビジネスの科学	2	講義	●				
		マーケティング各論	2	講義	○				
		アントレプレナーシップ	2	講義	○				
		デジタル産業論	2	講義	○				
	異文化スタディコンボ								
		異文化の科学	2	講義	●				
		言語文化論	2	講義	○				
		表現とコミュニケーション	2	講義	○				
		視覚文化論	2	講義	○				
	現代心理コンボ								
		心の科学	2	講義	●				
		健康と心理学	2	講義	○				
		こころの世界	2	講義	○				
		青年と心理学	2	講義	○				
	地球環境コンボ								
		地球環境の科学	2	講義	●				
		科学技術の未来	2	講義	○				
	地球と環境	2	講義	○					
	持続可能な開発と法	2	講義	○					
プロジェクト科目									
	プロジェクト入門	2	演習	●				注1、2	

注1：プロジェクト入門は5つのコンボとキャリアプログラムがテーマを設定し、それぞれに授業が開講されます（年度によって開講される授業は異なります）。詳細は、授業時間割を確認してください。

注2：現代教養学環では、注1に記す5つのコンボとキャリアプログラムのプロジェクト入門以外に、プロジェクト入門（現代社会）が開講されます。

科目区分	授業科目の名称	単位	授業形態	1年	2年(予定)	3年(予定)	4年(予定)	備考	
一般教育科目	MASTC	分野横断型プロジェクト	3 演習		●				
	キャリアプログラム	ジョブ・キャリアプログラム							
		ことばのスキル	2	講義	○				
		ソーシャルコミュニケーション	2	講義	○				
		キャリアトランジション	2	講義		○			
		キャリアセミナーⅠ	2	講義		○			
		キャリアセミナーⅡ	2	講義		○			
		キャリアセミナーⅢ	2	講義			○		
		インターンシップ	2	実験・実習		○			
		アスリート・キャリアプログラム							
		アスリートの科学	2	講義	○				
		大学スポーツ論	2	講義	○				
		アスリートキャリア	2	講義	○				
		アスリート・クロス	2	講義		○			
		リーダーシップ教育	2	講義		○			
		ライフスキル	2	講義		○			
		健康スポーツ	体育実技Ⅰ	1	実験・実習	○			
	体育実技Ⅱ		1	実験・実習	○				
	オフキャンパスプログラム	ボランティア論	2	講義	○				
		ボランティア実習	2	実験・実習	○				注3
		海外実習	2	実験・実習		○			注4
		国際コミュニケーション実習	4	実験・実習		○			注5
	特別講義	MAST特別実習	1	実験・実習	○				注6
		MAST特別講義	2	講義	○				注6

注3：「ボランティア実習」の履修を希望する場合には、「ボランティア論」の単位を修得していなければいけません（単位修得見込み者も含む）。「ボランティア実習」は実習先が異なる場合には、複数回の履修が可能ですが、修得可能な単位数の上限は6です。詳しくは、「ボランティア論」の担当教員に確認をしてください。

注4：個人で参加する留学について、単位認定を申請できる場合があります。詳しくは、20ページの「6. 留学制度について」の「3 個人による留学について」を参照してください。

注5：大学が提供する短期の語学研修に参加し、要件を満たすことで単位が認められます。詳しくは、19ページの「6. 留学制度について」の「1 短期留学（短期語学研修）について」を参照してください。

注6：年度によって開講される科目が異なります。詳細は、各年度の授業時間割を確認してください。

現代教養学環教育課程表③

●…必修 ○…選択

科目区分	授業科目の名称	単位	授業形態	1年	2年(予定)	3年(予定)	4年(予定)	備考	
専門教育科目	学環基礎科目	ロジカルライティング	2	講義		●			
		ロジカルコミュニケーション	2	講義		●			
		デジタルスキル	2	講義		○			注1
		データコミュニケーション	2	講義		○			注1
		フィールドスタディⅠ	1	実験・実習	●				
		フィールドスタディⅡ	1	実験・実習	○				
		フィールドスタディⅢ	2	実験・実習		○			
		フィールドスタディⅣ	1	実験・実習		○			
		現代社会の科学	2	講義			○		
		現代社会と学術研究	2	講義			○		

学環専門科目	コース基礎・発展科目	地域社会学コース							
		地域政治論	2	講義		○			
		地域観光事業論	2	講義		○			
		横浜地域学	2	講義		○			
		実践地域創成学	2	講義		○			
		地域社会学研究法	2	講義			○		注2
		行政学	2	講義			○	○	
		政治学	2	講義			○	○	
		地方自治法	2	講義			○	○	
		地域共生論	2	講義			○		
		地域共生実践	2	講義			○		
		マーケティング学コース							
		マーケティング・リサーチ	2	講義		○			
		ウェブ・コミュニケーション	2	講義		○			
		現代ビジネス論	2	講義		○			
		ビジネスアイデアデザイン	2	講義		○			
		マーケティング学研究法	2	講義			○		注2
		会計学	2	講義			○	○	
		租税法	2	講義			○	○	
		広告論	2	講義			○	○	
		スポーツマーケティング論	2	講義			○	○	
		スポーツマネジメント論	2	講義			○	○	
		国際コミュニケーション学コース							
		異文化リサーチ	2	講義		○			
		ファッション文化論	2	講義		○			
		フード文化論	2	講義		○			
		若者文化論	2	講義		○			
		国際コミュニケーション学研究法	2	講義			○		注2
		言語文化交流論	2	講義			○		
		国際観光論	2	講義			○		
		国際交流論	2	講義			○	○	
		比較政治制度論	2	講義			○	○	
		国際政治論	2	講義			○	○	
		心理学コース							
		集団と心理学	2	講義		○			
		幸せと心理学	2	講義		○			
		意思決定と心理学	2	講義		○			

科目区分	授業科目の名称	単位	授業形態	1年	2年(予定)	3年(予定)	4年(予定)	備考	
学環専門科目	自己調整と心理学	2	講義		○				
	心理学研究法	2	講義			○		注2	
	法哲学	2	講義			○	○		
	市民形成論	2	講義			○	○		
	心理統計解析	2	講義			○			
	社会・文化と心理学	2	講義			○			
	総合医療学概論	2	講義			○	○		
	サステナブル工学コース								
	コース基礎・発展科目	数学Ⅰ	2	講義		○			
		物理Ⅰ	2	講義		○			
		化学	2	講義		○			
		数学Ⅱ	2	講義		○			
		物理Ⅱ	2	講義		○			
		有機化学基礎	2	講義		○			
		物理化学Ⅰ	2	講義		○			
		分析化学	2	講義		○			
		機器分析化学	2	講義		○			
		基礎光学	2	講義		○			
		サステナブル工学研究法Ⅰ	2	講義			○		注2
		サステナブル工学研究法Ⅱ	2	講義			○		注2
		無機化学Ⅰ	2	講義			○		
		無機化学Ⅱ	2	講義			○		
		有機化学Ⅰ	2	講義			○		
		有機化学Ⅱ	2	講義			○		
		高分子化学	2	講義			○		
		物理化学Ⅱ	2	講義			○		
		力学	2	講義			○		
		電気化学	2	講義			○		
		電気工学	2	講義			○		
		電磁気学	2	講義			○		
		界面科学	2	講義			○		
	環境分析学	2	講義			○			
	都市と防災	2	講義			○	○		
演習	基礎ゼミナールⅠ	2	演習		●				
	基礎ゼミナールⅡ	2	演習		○			注3	
	専門探究ゼミナールⅠ	2	演習			●			
	専門探究ゼミナールⅡ	2	演習			●			
	専門探究ゼミナールⅢ	2	演習			●			
	専門探究ゼミナールⅣ	2	演習				●		
	知識集約型研究プロジェクトⅠ	4	演習				●		
	知識集約型研究プロジェクトⅡ	6	演習				●		

注1：「デジタルスキル」、「データコミュニケーション」のどちらか一方を履修すること。

注2：選択したコースの研究法を必ず履修すること。ただし、サステナブル工学コースについては、Ⅰ・Ⅱの両方を履修すること。

注3：基礎ゼミナールⅡは、コースごとに開講されます。選択を希望するコースのゼミを含む2つ以上の基礎ゼミナールⅡを履修すること。

2023年度

---

# 資料編

校舎平面図

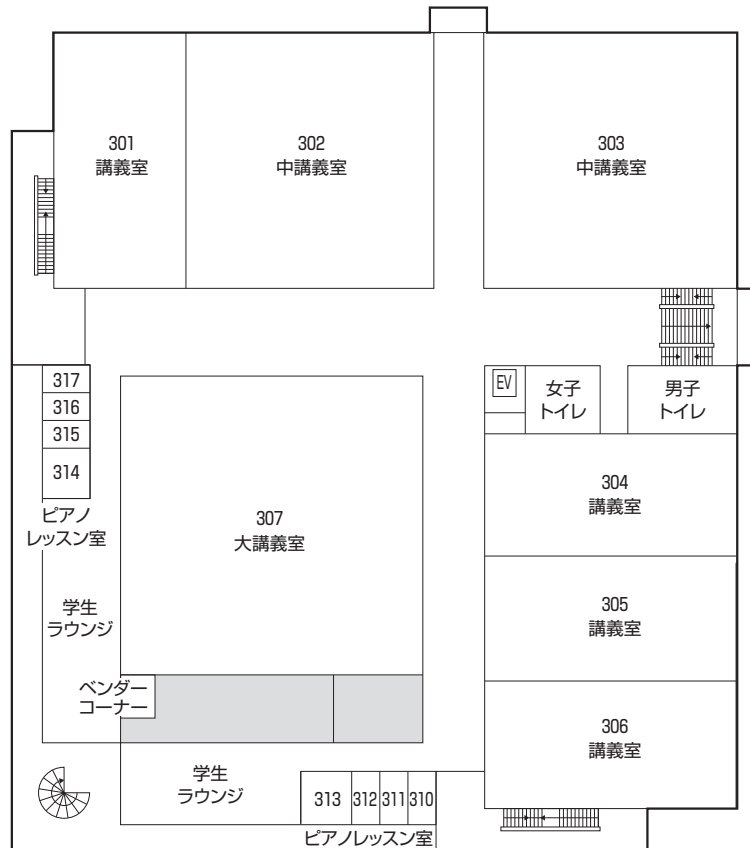
30

キャンパスマップ

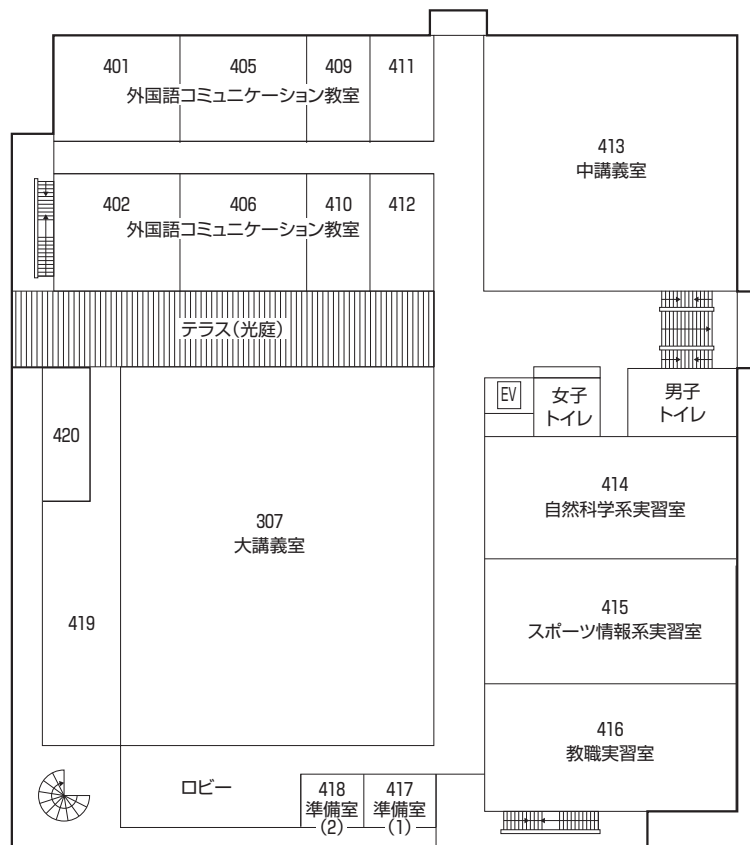
48



## 〈3階〉

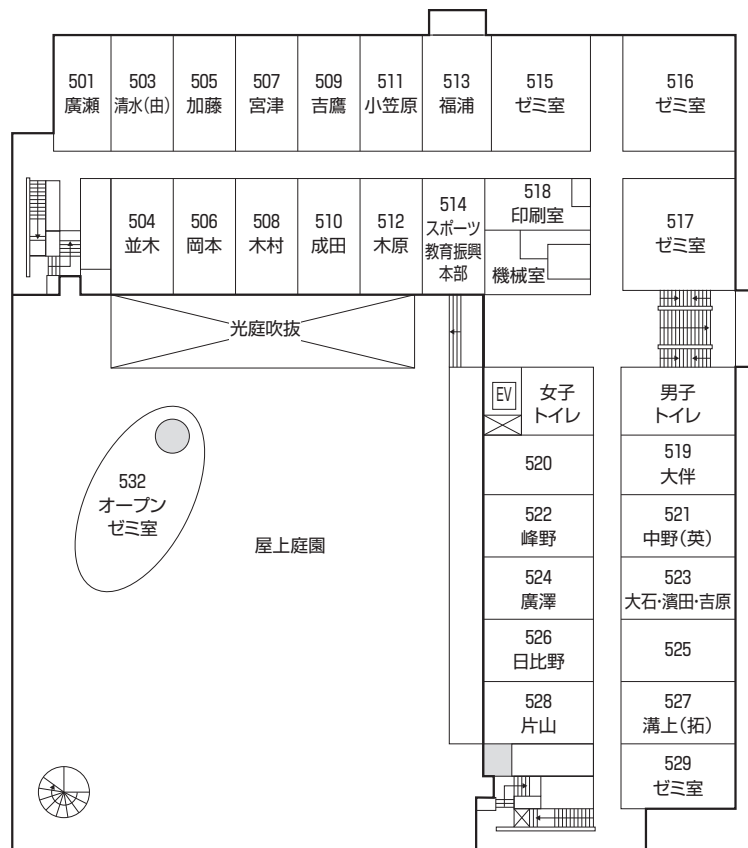


## 〈4階〉

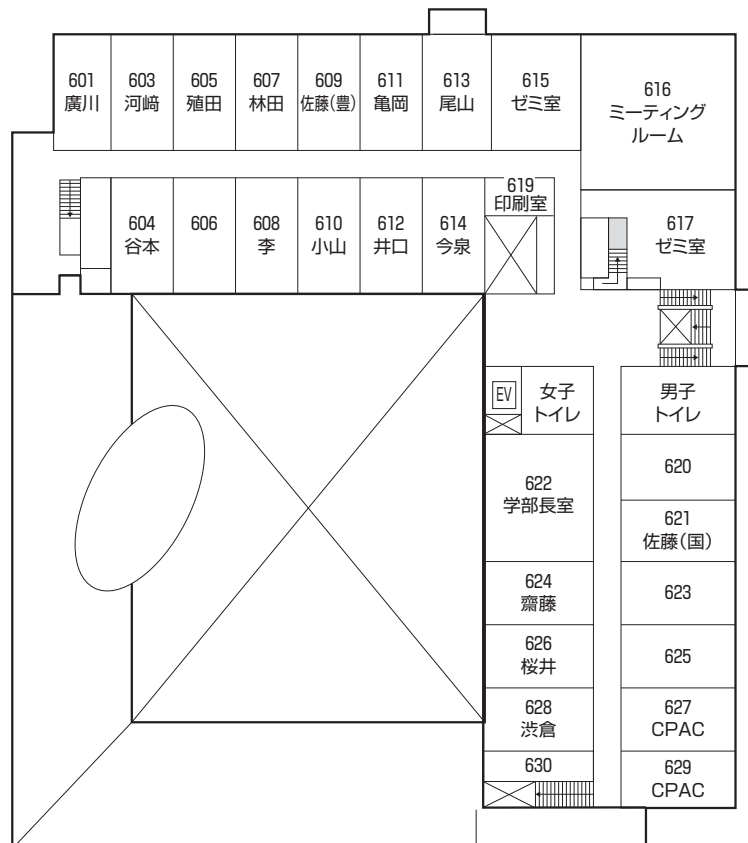


※学生が利用しない場所は  
アミがけにしてあります。

< 5階 >

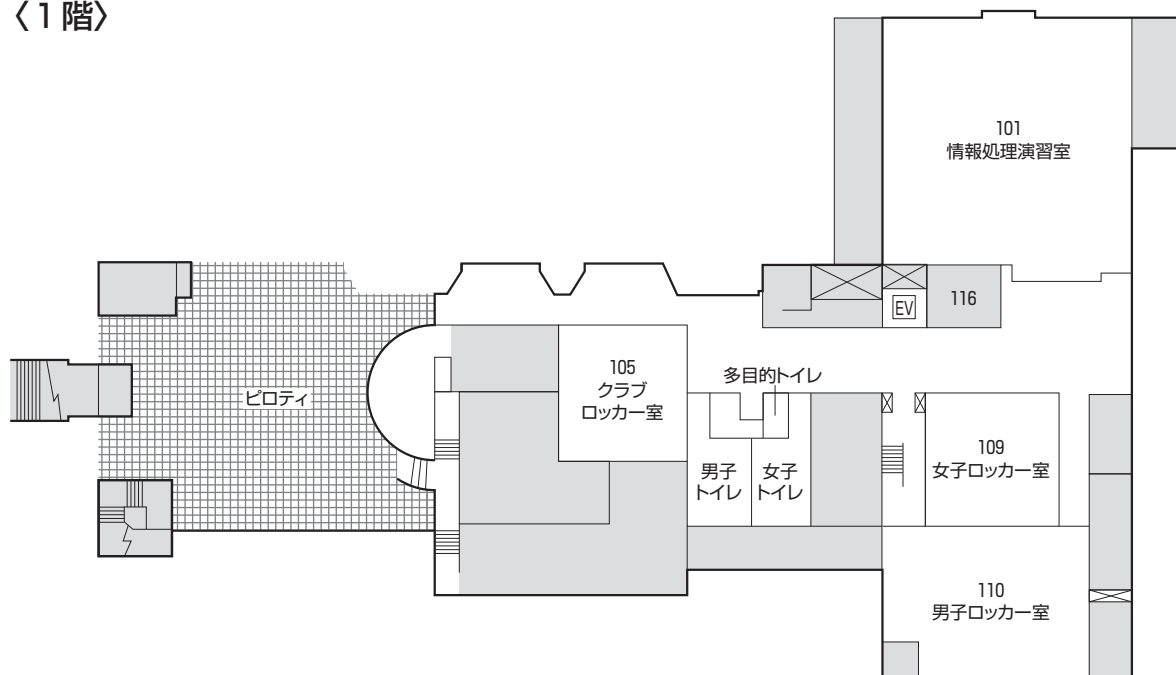


< 6階 >

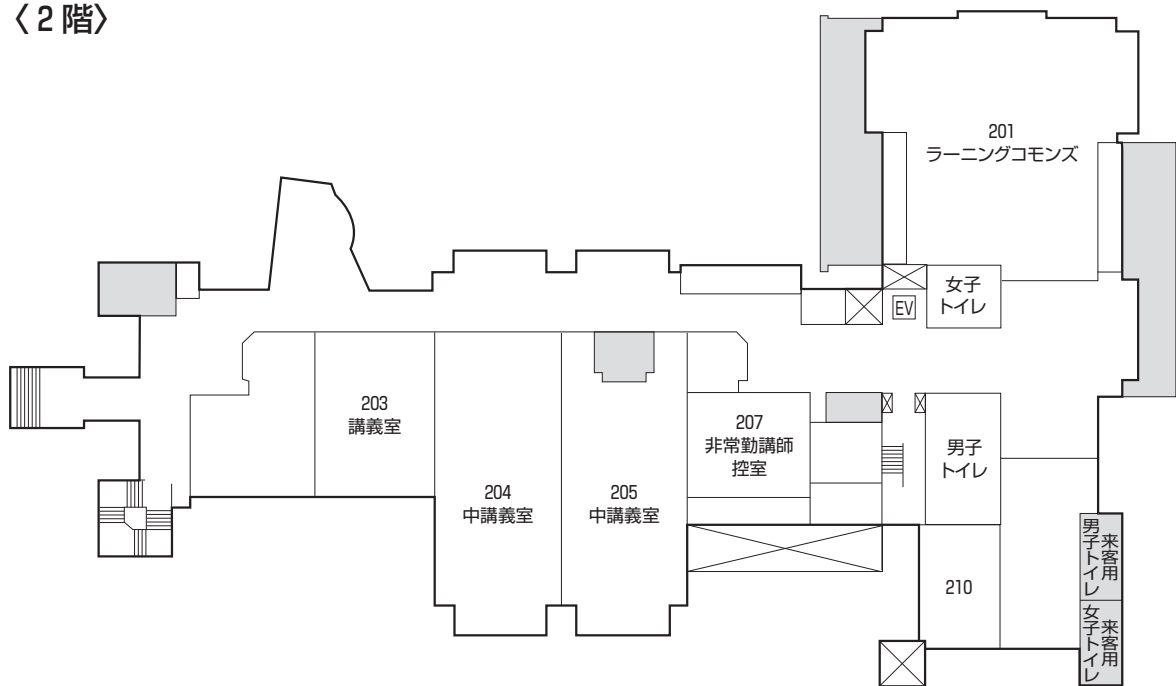




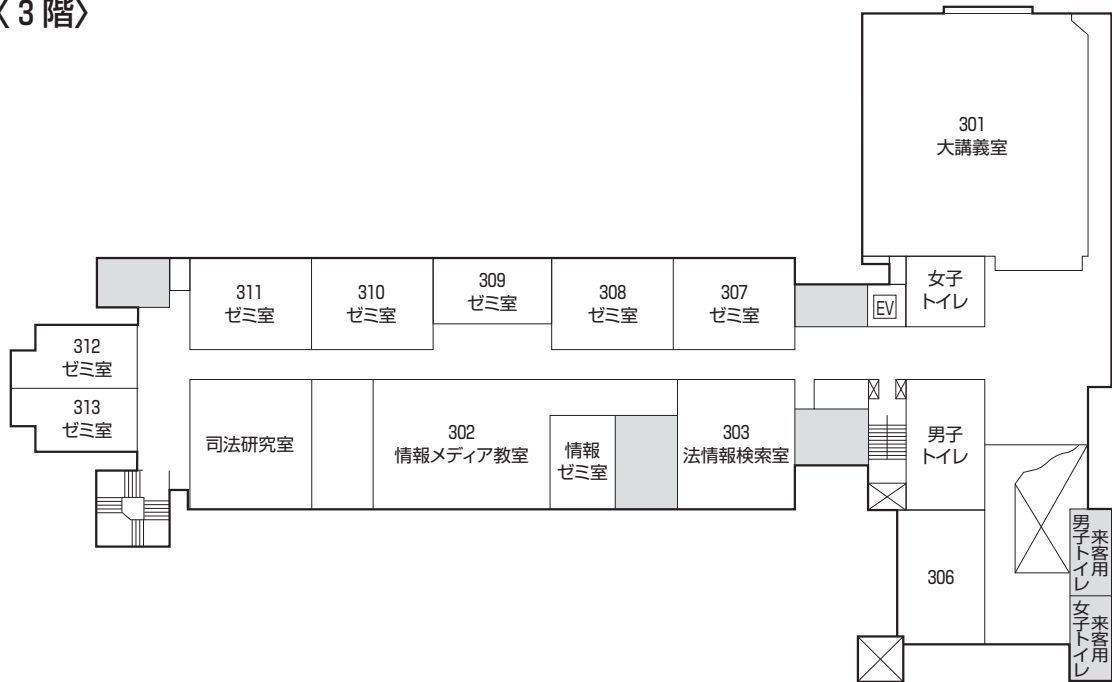
〈1階〉



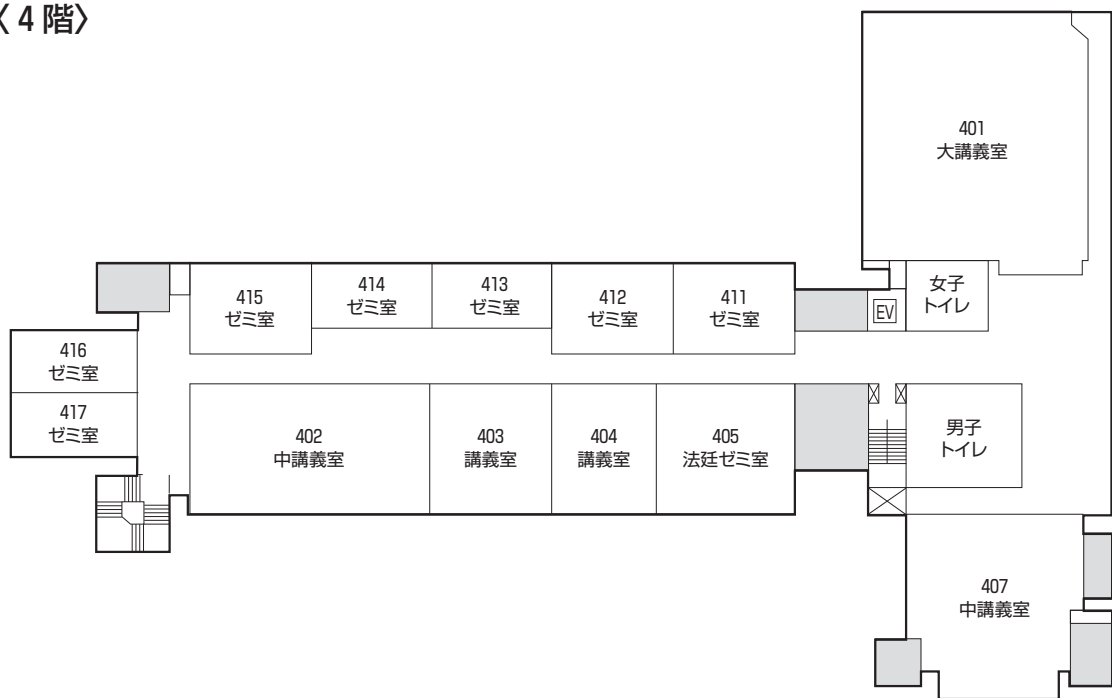
〈2階〉



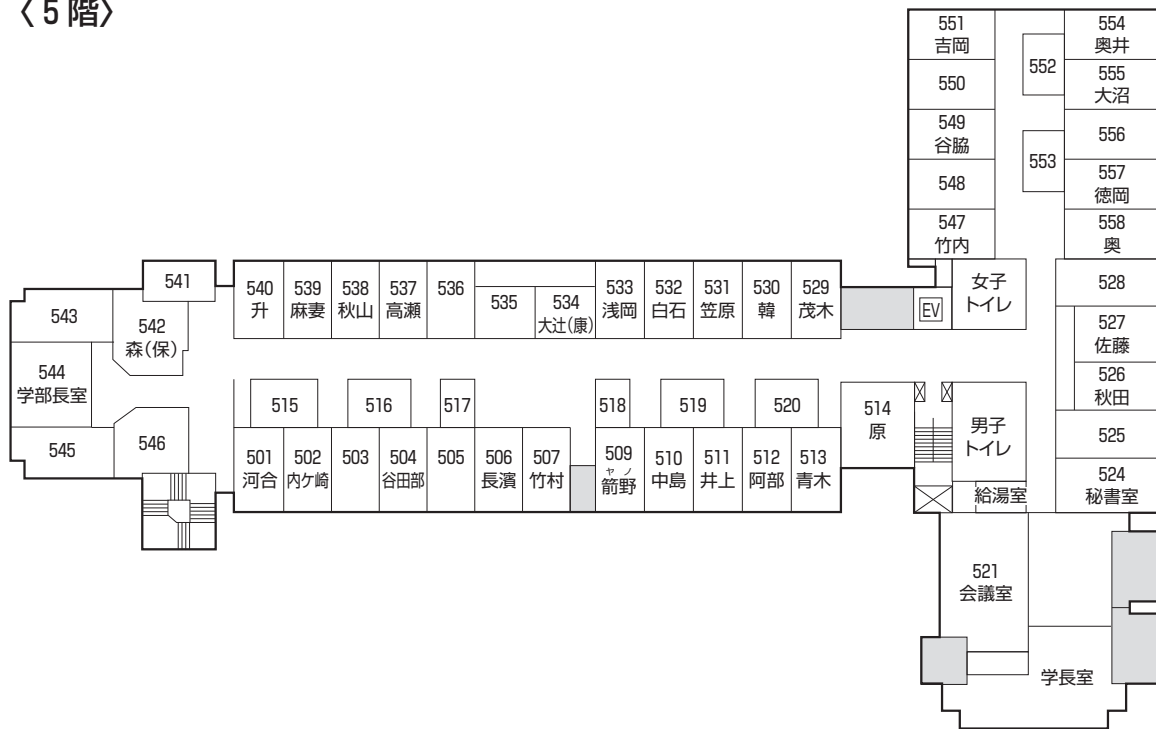
〈3階〉



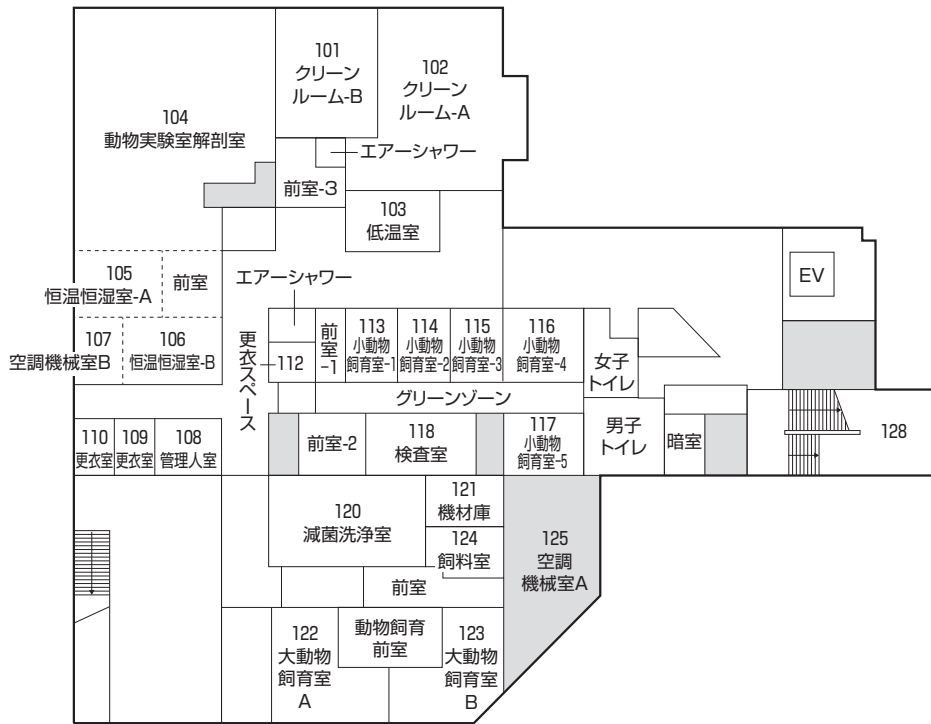
〈4階〉



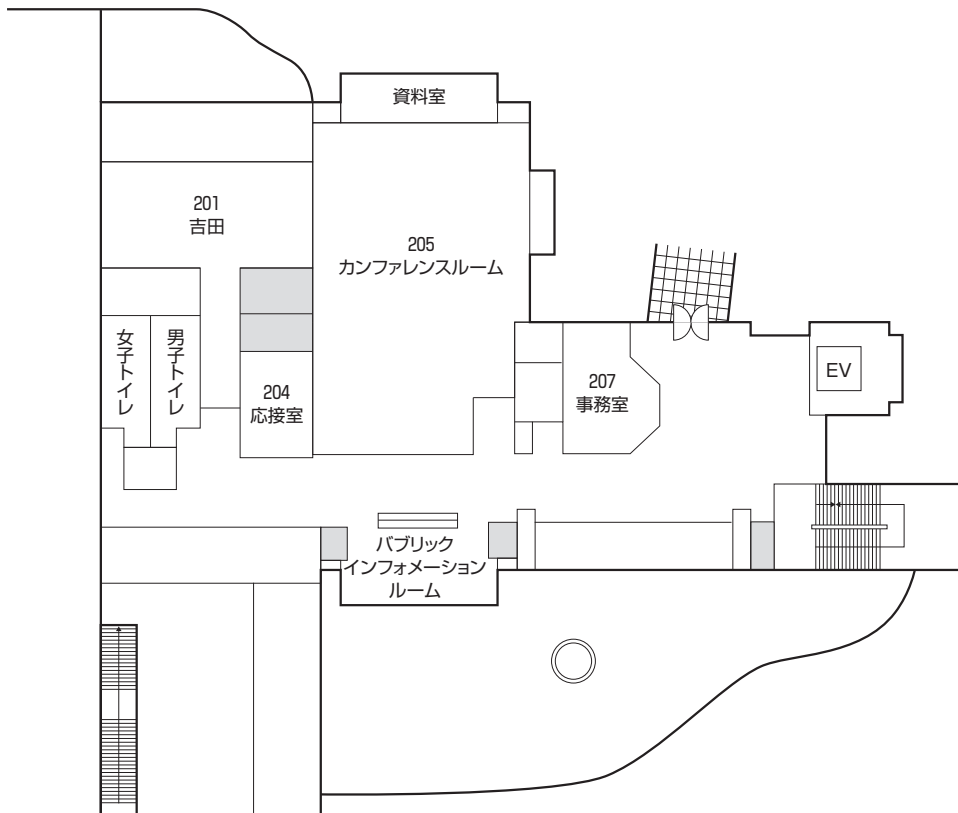
## 〈5階〉



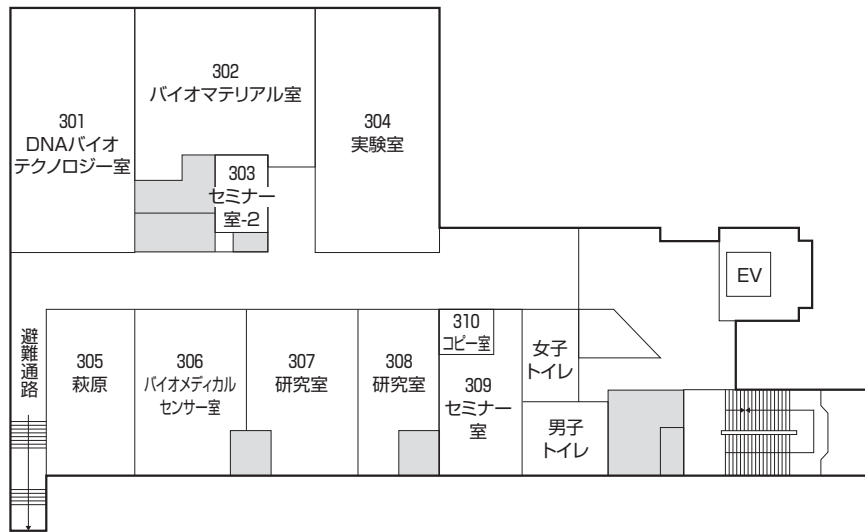
<1階>



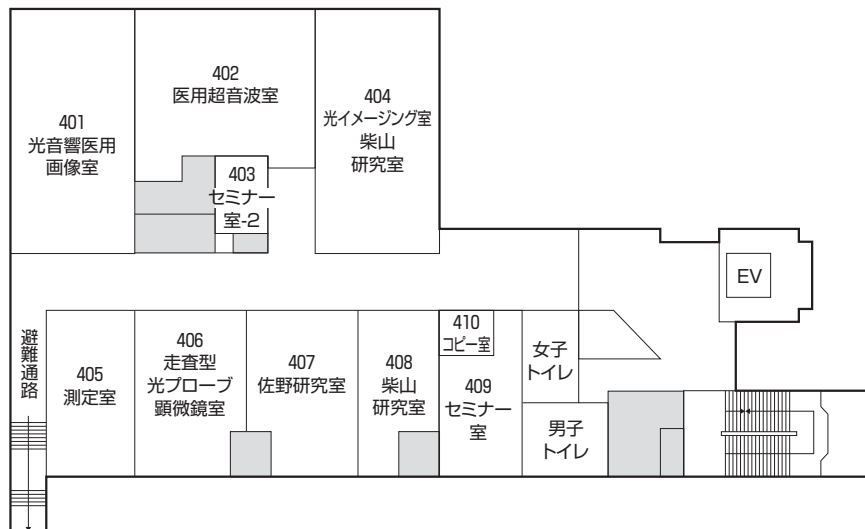
<2階>



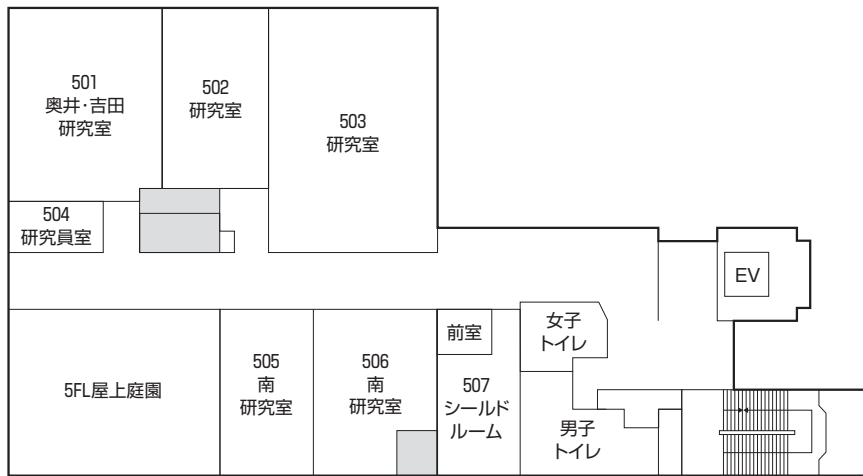
## 〈3階〉



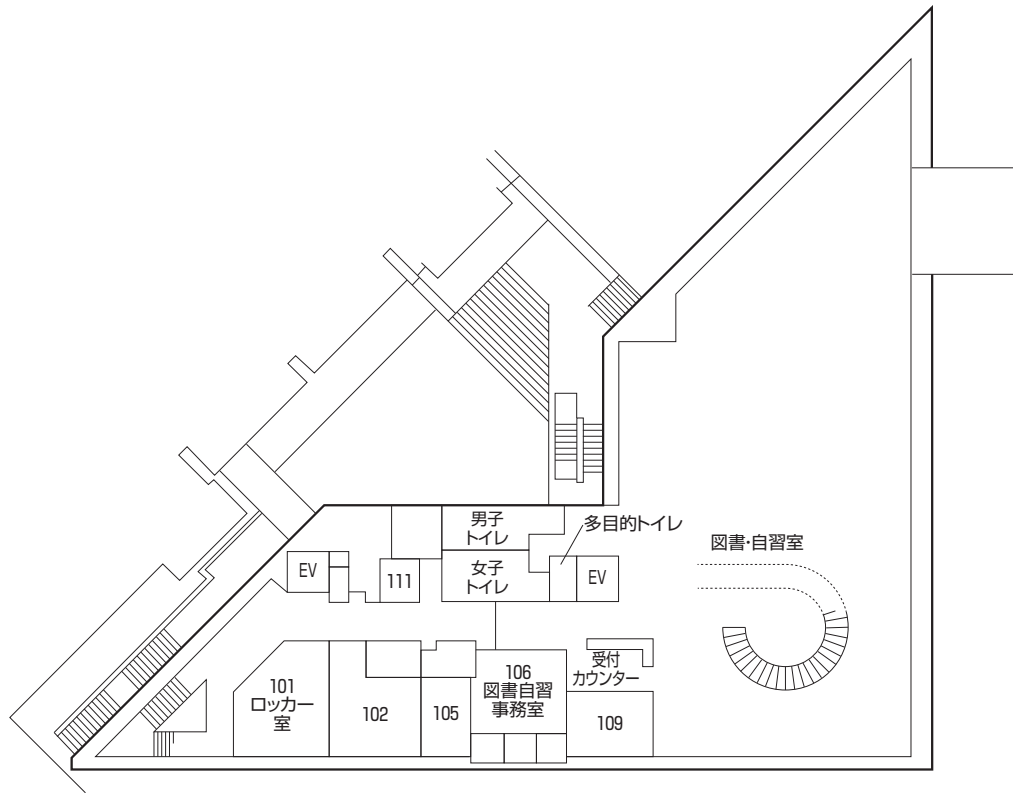
## 〈4階〉



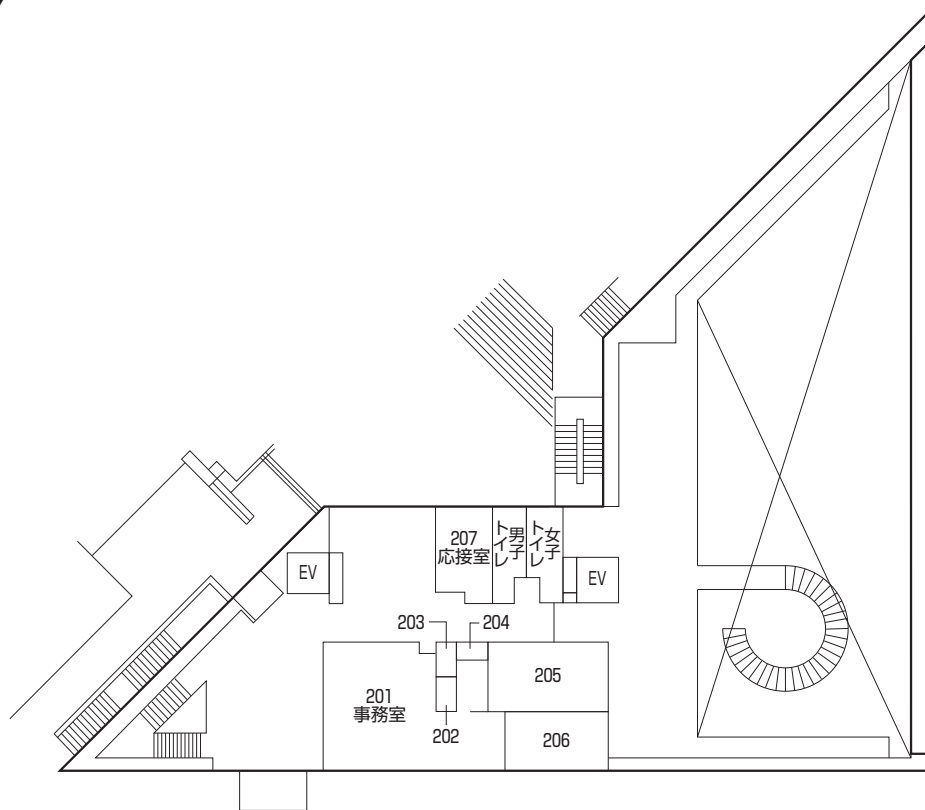
〈5階〉



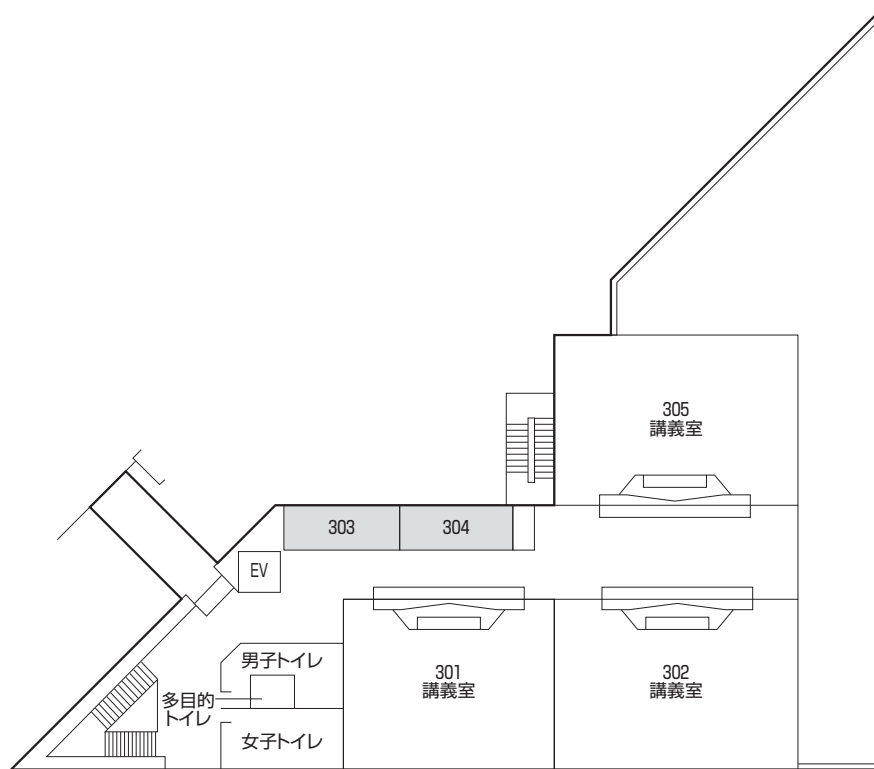
〈1階〉



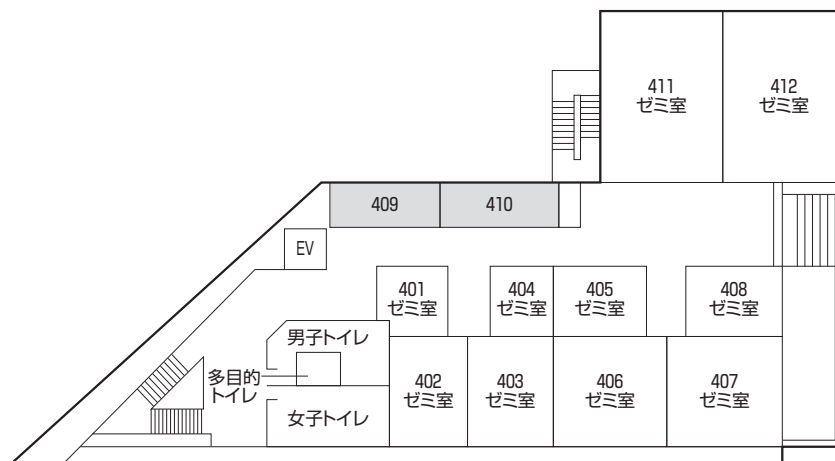
〈2階〉



〈3階〉

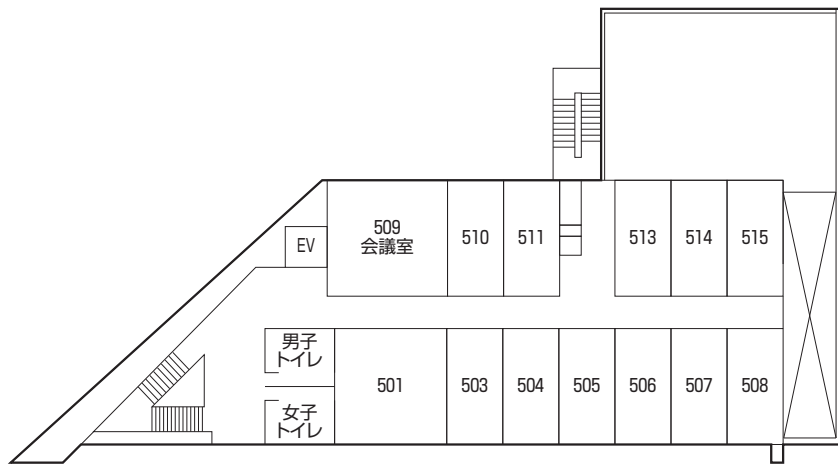


〈4階〉

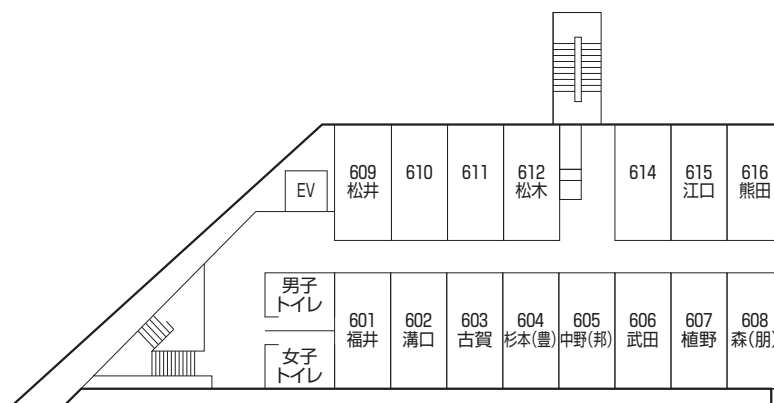




## 〈5階〉



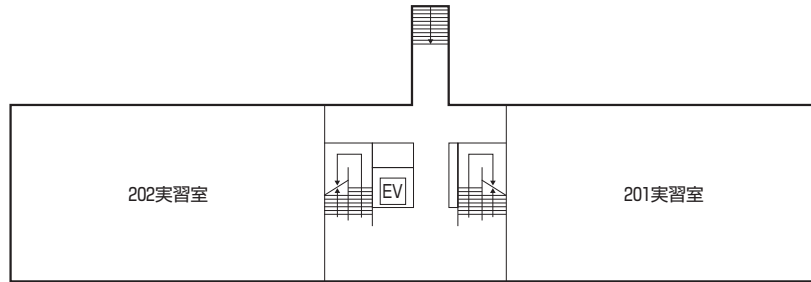
## 〈6階〉



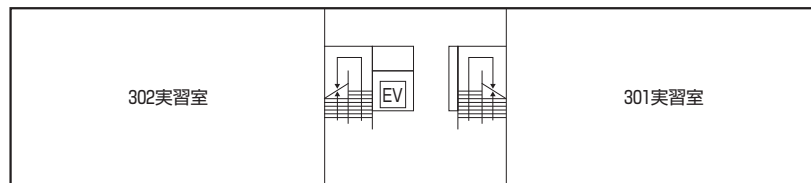
<1階>



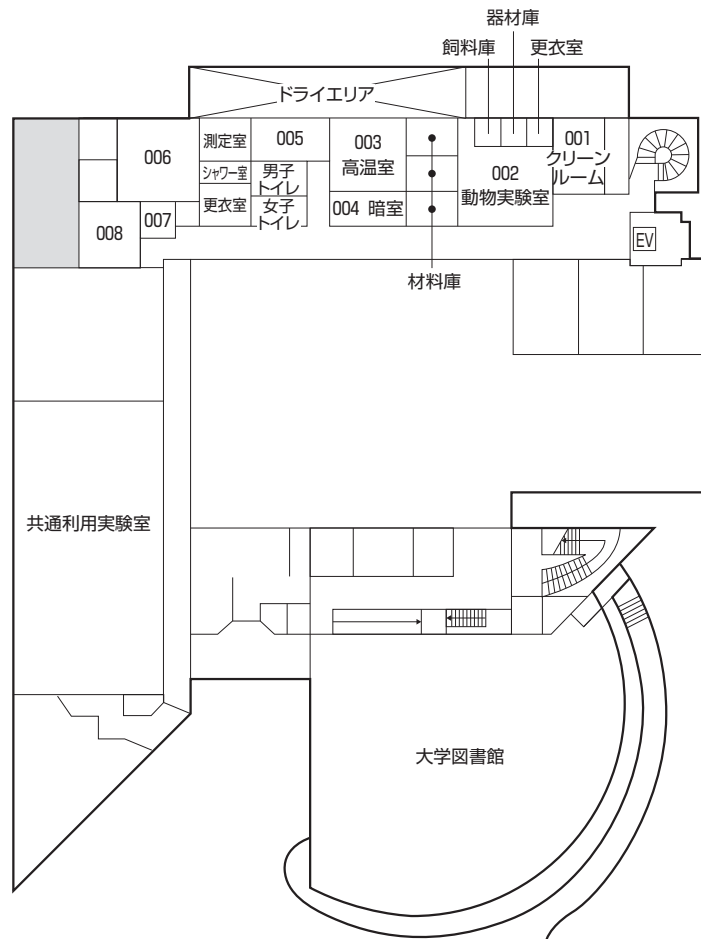
<2階>



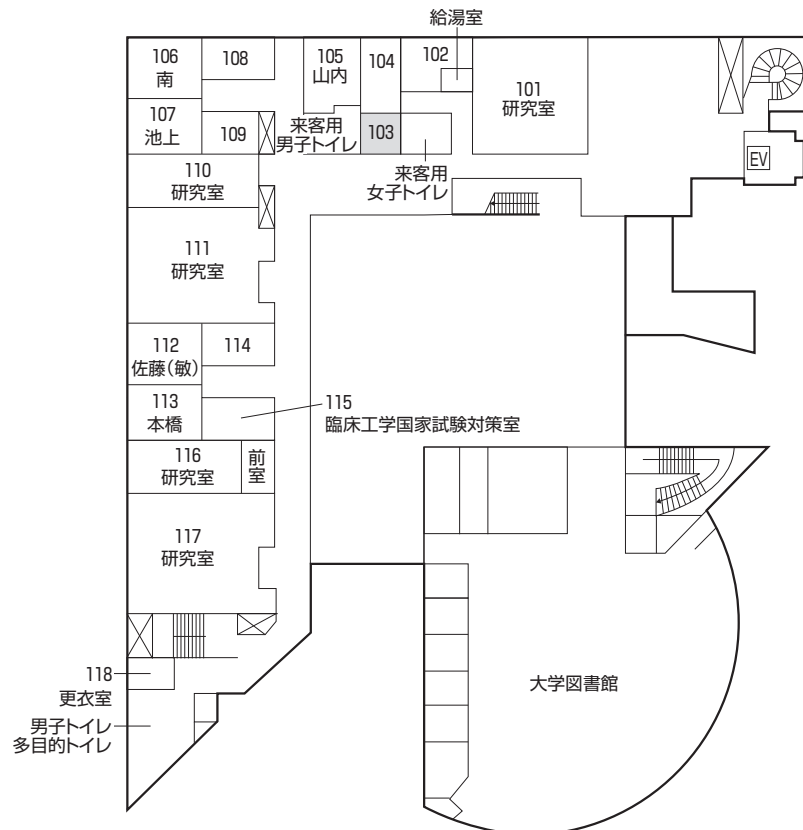
<3階>



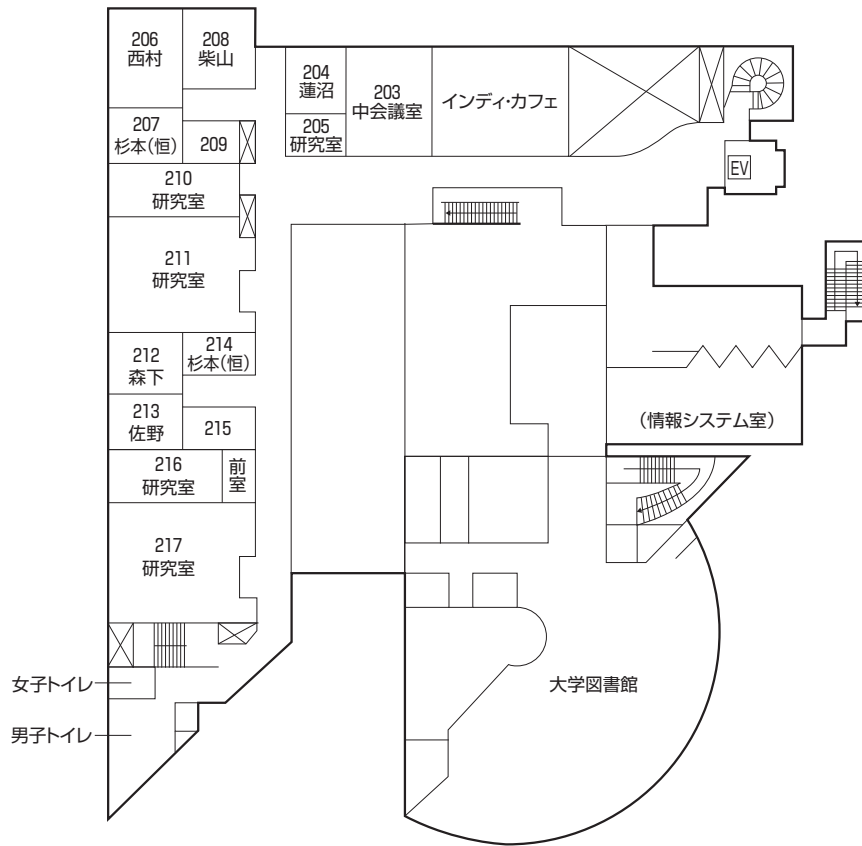
〈地階〉



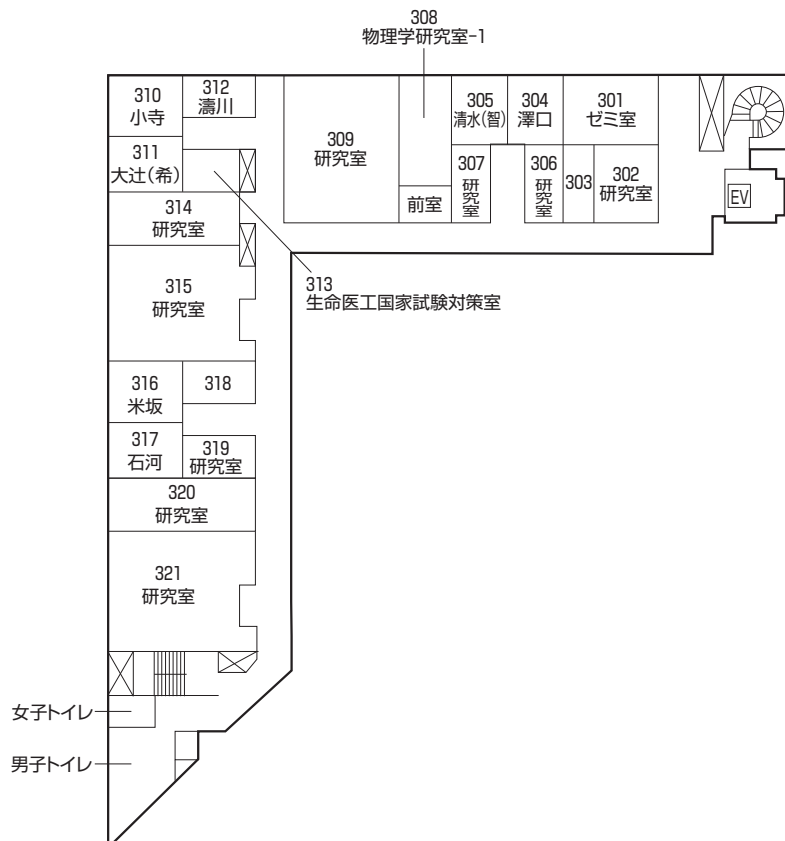
〈1階〉



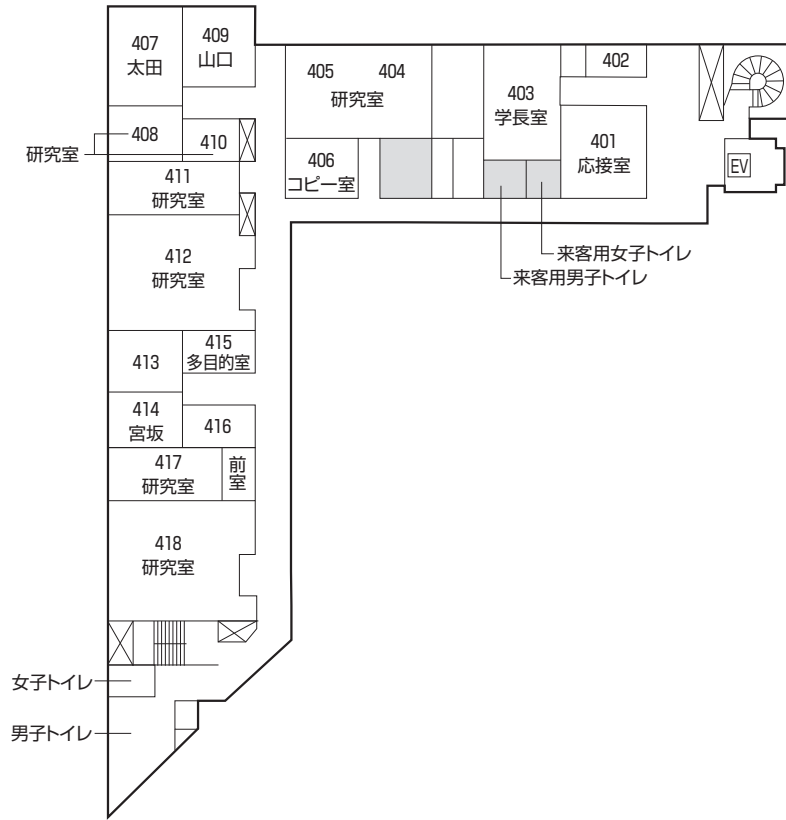
〈2階〉



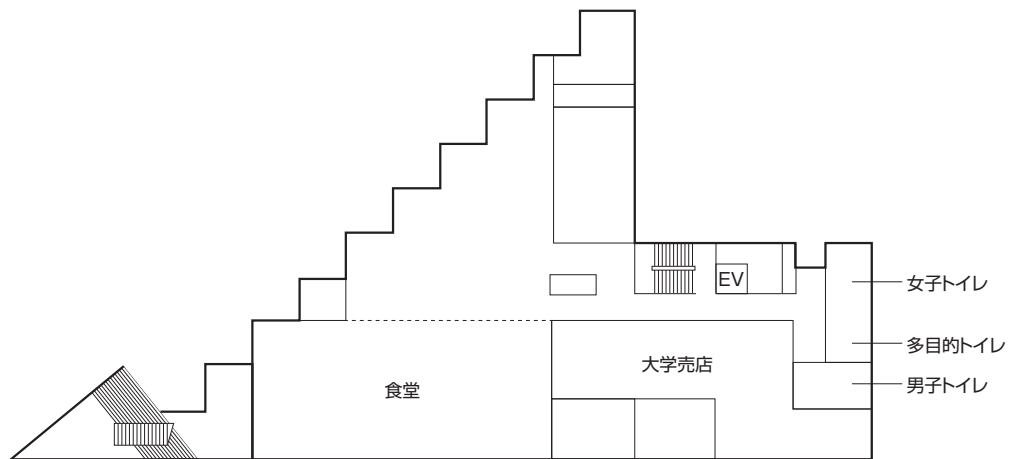
〈3階〉



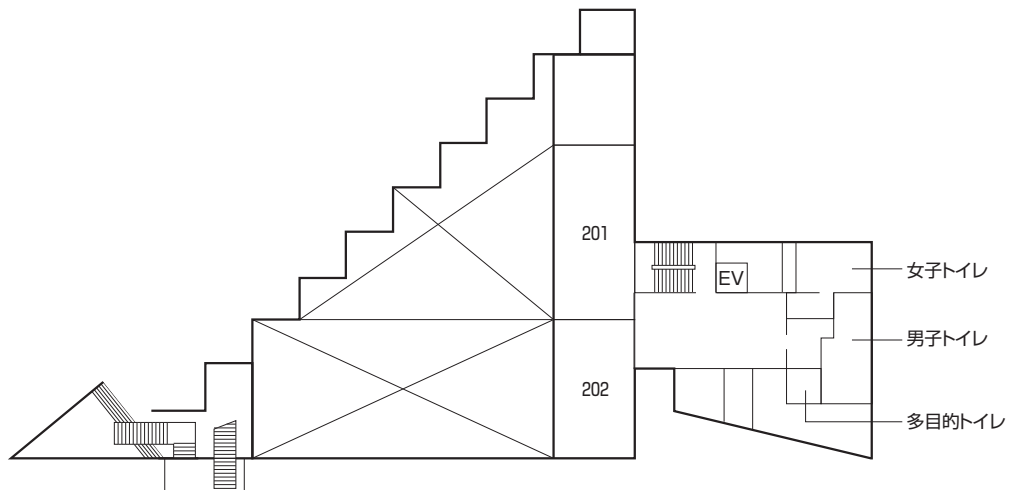
〈4階〉



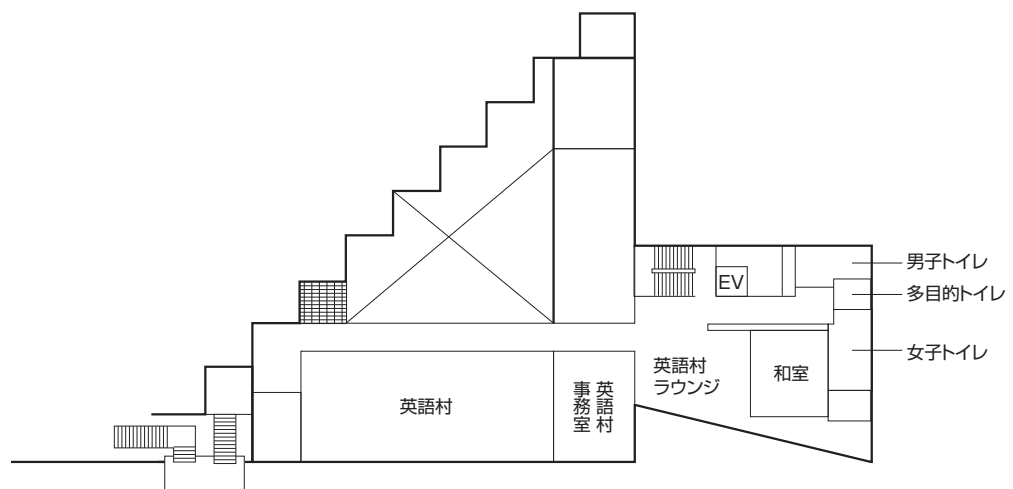
〈1階〉



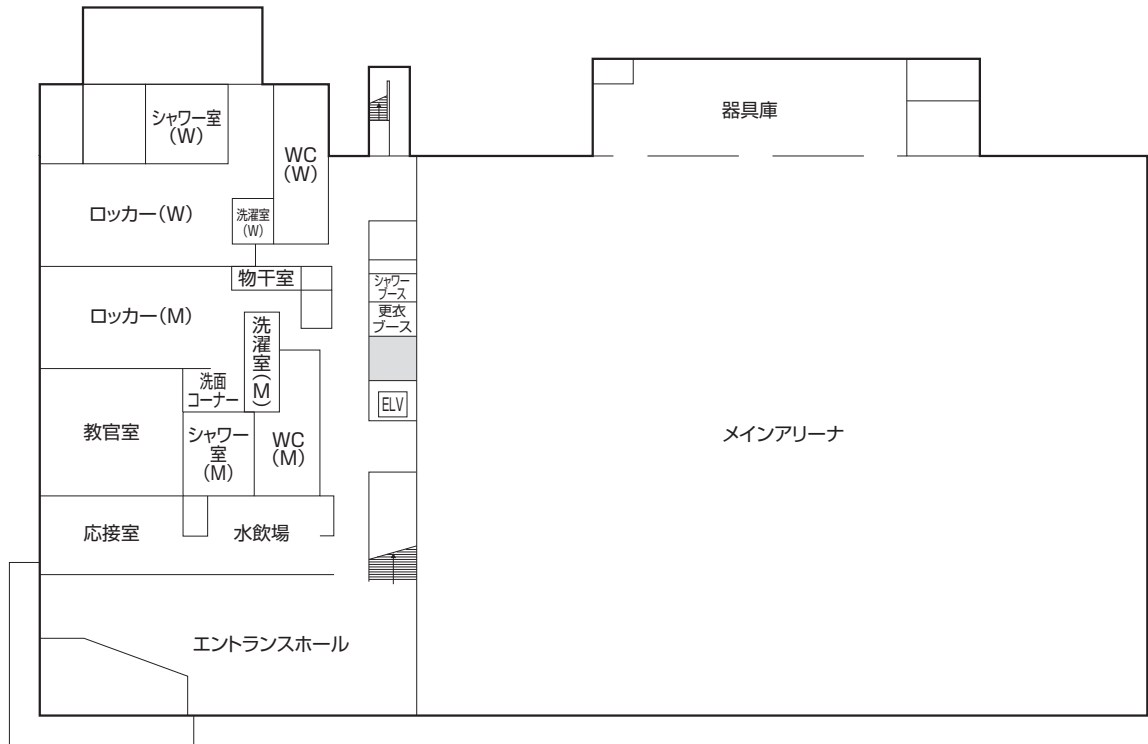
〈2階〉



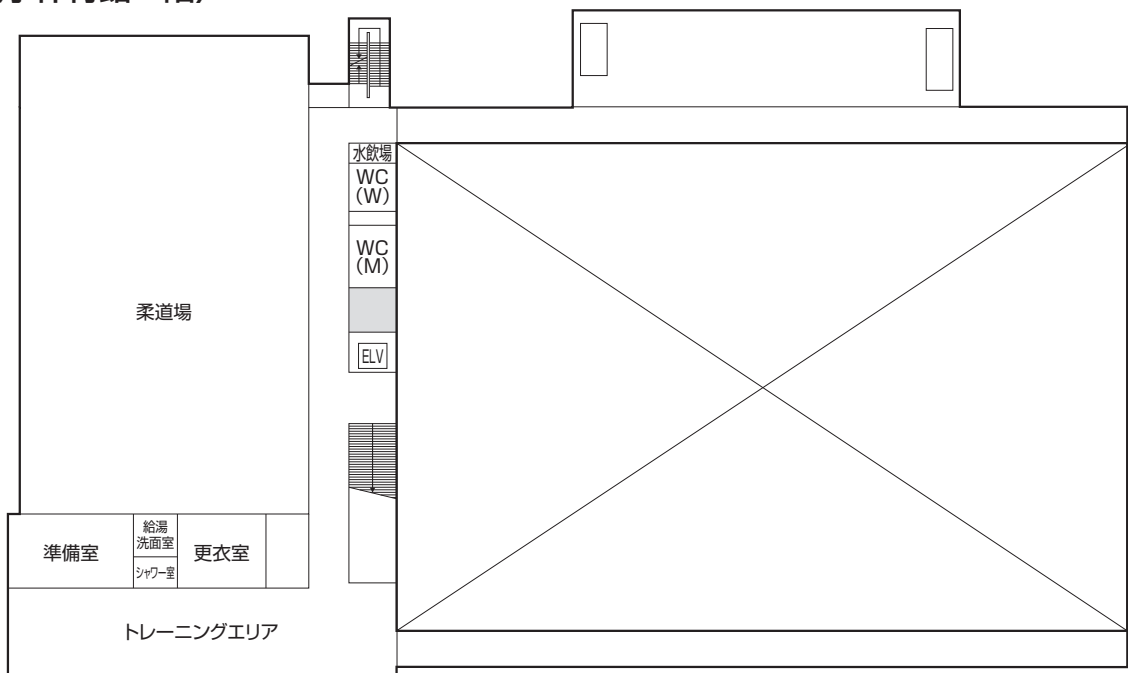
〈3階〉



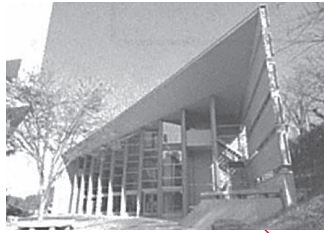
〈大学体育館 1 階〉



〈大学体育館 2 階〉



# キャンパスマップ



交流会館



野球場



Ⅲ号館



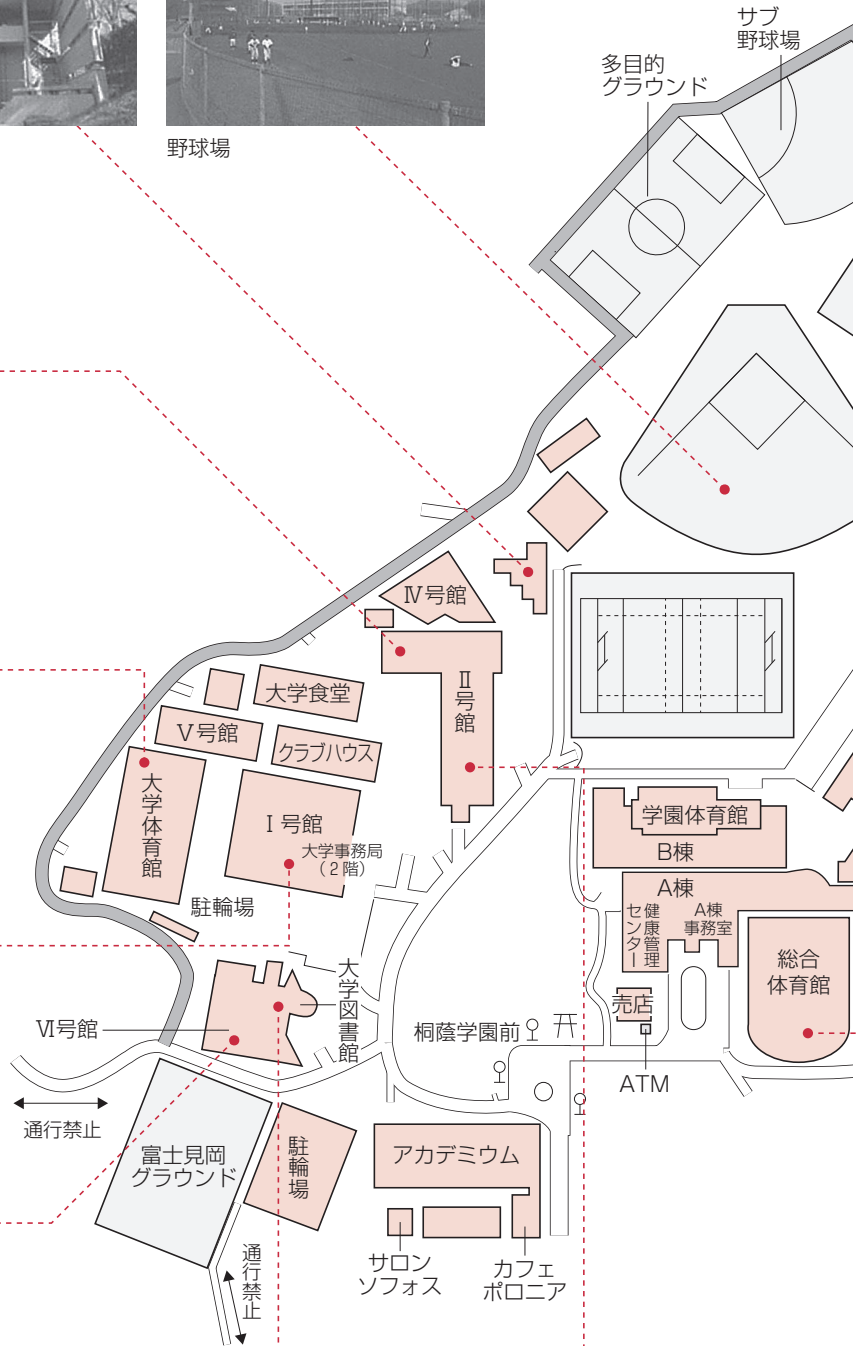
大学体育館



I号館



Ⅵ号館



大学図書館



Ⅱ号館





総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ 外観









2023年度 現代教養学環  
履修要項



学校法人 桐蔭学園

桐蔭横浜大学

〒225-8503 横浜市青葉区鉄町1614